

(別 添)

1. 構造名

葺材 [かわら製、スレート製、めっき鋼板製、ステンレス鋼板製、アルミニウム合金板製、銅板製又はチタン板製]・硬質木片セメント板・フェノールフォーム板/軽量鉄骨造屋根

2. 形状及び寸法等

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
屋根寸法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅 910 以上 ・ 長 さ 303 以上 ・ 厚 さ 139 以上
母屋間隔	2000 以下

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
①荷重支持部材 (たる木)	一般構造用軽量形鋼 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS G 3350 ・ 断面形状 □-100×50×20×2.3 の断面寸法以上 (野地板の目地部は2本使用) ・ 間 隔 606 以下
②屋根葺材	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)かわら 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする。 1)粘土がわら <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS A 5208 ・ 形 状 形状の例は別添-33 参照 2)プレスセメントがわら <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS A 5402 ・ 形 状 形状の例は別添-33 参照 ・ 単位面積質量 $44 \pm 4 \text{kg/m}^2$ 以下 (2)スレート 住宅屋根用化粧スレート <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS A 5423 ・ 形 状 ㄱ)、ㄴ)のうち、いずれか一仕様とする ㄱ) 平形屋根スレート ㄴ) 波形屋根スレート (別添-34 参照) ・ 働 き 幅 600 以上 910 以下 ・ 働 き 長 さ 150 以上 225 以下 ・ 単位面積質量 $44 \pm 4 \text{kg/m}^2$ 以下 (3)金属板 1)～2)のうち、いずれか一仕様とする。 1)溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・ 規 格 JIS G 3302 ・ 厚 さ 0.4 以上

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3312 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ) アクリル系樹脂塗装 ロ) ポリエステル系樹脂塗装 ハ) シリコン系樹脂塗装 ニ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ホ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ヘ) フッ素系樹脂塗装 ト) エポキシ系樹脂塗装 チ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>3) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3317 ・厚 さ 0.4 以上 <p>4) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3318 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ) アクリル系樹脂塗装 ロ) ポリエステル系樹脂塗装 ハ) シリコン系樹脂塗装 ニ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ホ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ヘ) フッ素系樹脂塗装 ト) エポキシ系樹脂塗装 チ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>5) 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3321 ・厚 さ 0.4 以上 <p>6) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3322 ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 1)～f)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ) アクリル系樹脂塗装 ロ) ポリエステル系樹脂塗装 ハ) シリコン系樹脂塗装 ニ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ホ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ヘ) フッ素系樹脂塗装 ト) エポキシ系樹脂塗装 チ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>7) 熱間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304 ・厚 さ 0.4 以上 <p>8) 冷間圧延ステンレス鋼板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4305 ・厚 さ 0.4 以上

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>9) 塗装ステンレス鋼板(国土交通大臣認定：NM-8316～NM-8326)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 ｲ)～ﾌ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ｲ) アクリル系樹脂塗装 ﾚ) ポリエステル系樹脂塗装 ﾊ) シリコン系樹脂塗装 ﾆ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ﾎ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ﾊﾞ) フッ素系樹脂塗装 ﾄ) エポキシ系樹脂塗装 ﾌ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>10) 伸銅材(国土交通大臣認定：NM-8586～NM-8595)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 <p>11) チタン展伸材(国土交通大臣認定：NM-8596)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 <p>12) カラーアルミ(国土交通大臣認定：NM-8597 又は NM-8598)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上 ・塗 装 ｲ)～ﾌ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ｲ) アクリル系樹脂塗装 ﾚ) ポリエステル系樹脂塗装 ﾊ) シリコン系樹脂塗装 ﾆ) アミノ・アルキド系樹脂塗装 ﾎ) 塩化ビニル系樹脂塗装 ﾊﾞ) フッ素系樹脂塗装 ﾄ) エポキシ系樹脂塗装 ﾌ) ウレタン系樹脂塗装 ・塗 布 量 片面 65g/m² 以下 <p>13) アルミニウム(平成 12 年建設省告示第 1400 号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.4 以上

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>14)無機質断熱材裏張・金属板(国土交通大臣認定：NM-8673)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裏張材 1)～ニ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ)せっこうフォームシート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 2.0 以上 ロ)ガラス繊維シート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 2.0 以上 ハ)ロックウールフェルト <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 4.0 以上 ニ)セラミック繊維シート <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 5.0 以上 ・金属板 1)～ハ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ)溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3302 ロ)電気亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3313 ハ)溶融アルミニウムめっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3314 ニ)ステンレス鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 4304、4305、4312 ホ)塗装溶融亜鉛めっき鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3312 ヘ)塗装ステンレス鋼板 <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS G 3320 ・金属板厚 0.35 以上 ・接着剤 1)、ロ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> イ)クロロプレンゴム系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 30g/m²以下 ロ)アイオノマー系樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 30g/m²以下 <p>15)両面合成樹脂塗装/アルミニウム合金板(国土交通大臣認定：NM-3555)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.6 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m²以下 両面計 130g/m²以下 <p>16)溶融アルミニウムめっき鋼板 (JIS G 3314)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 <p>17)両面ポリエステル樹脂系塗料/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-9583、NM-9584)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m²以下 両面計 130g/m²以下 <p>18)フッ素樹脂系塗料/裏面ポリエステル樹脂系塗料/アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定：NM-9662)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m²以下 両面計 130g/m²以下

項 目	仕 様
②屋根葺材 (つづき)	<p>19)両面アクリル樹脂系塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定 : NM-8341、NM-8514)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>20)両面ポリエステル樹脂系塗装/熔融アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定 : NM-1863)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>21)塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定 : NM-8697)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>22)建築構造用熔融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (MSTL-0069・MSTL-0070、MSTL-0064・MSTL-0065)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 0.35 以上 <p>23)フッ化ビニリデン樹脂系塗装/両面アクリル・塩化ビニル樹脂系 塗装/亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定 : NM-8400)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>24)アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定 : NM-8027)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 <p>25)ポリエステル樹脂系塗装/アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定 : NM-8028)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>26)ウレタン樹脂系塗装亜鉛合金板張/合成樹脂塗装鋼板 (国土交通大臣認定 : NE-0040、NE-0044)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>27)亜鉛合金板張/合成樹脂塗装鋼板 (国土交通大臣認定 : NE-0041、NE-0045)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>28)ウレタン樹脂系塗装亜鉛合金板張/鋼板 (国土交通大臣認定 : NE-0042、NE-0046)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上 ・塗装塗布量 片面 65g/m² 以下 両面計 130g/m² 以下 <p>29)亜鉛合金板張/鋼板 (国土交通大臣認定 : NE-0043、NE-0047)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 0.35 以上

項 目	仕 様
③裏張材 (合成樹脂系)	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり (④野地板 [2] フェノールフォーム保温板が厚さ 25 以上の場合に限る (屋根葺材(3)-1)~(13)、(15)~(29)に限る))</p> <p>材料：1)~8)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)ポリエチレンフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ポリエチレンフォーム 99.5 以下 発泡剤等 0.5 以上 <p>2)ポリエチレンフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ポリエチレンフォーム 87.0 以下 難燃材 (テトラプロモフタルイミド等) 8.7 以上 無機質 4.3 以上 <p>3)無機質高充填フォームプラスチック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂：43 以下 <ul style="list-style-type: none"> エチレン酢ビ共重合体等有機質 <ul style="list-style-type: none"> エチレン酢ビ共重合 80~95 オレフィン系樹脂 5~20 ・無機質系充填剤：46 以上；a)又はb)のうちいずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> a) <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 21 以上 水酸化アルミニウム 23 以上 三酸化アンチモン 2 以下 b) <ul style="list-style-type: none"> 水酸化アルミニウム 38 以上 三酸化アンチモン 8 以下 ・難燃材他：11 以上 <ul style="list-style-type: none"> 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 7 以上 三酸化アンチモン 4 以下 <p>4)オレフィン樹脂系フォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂：41 <ul style="list-style-type: none"> オレフィン系樹脂 37 アゾジカルボンアミド 1 ジカルバミルヒドラジン 1 ヒドラゾジカルボンイミド 1 有機系顔料 (イソインドリノン系) 1 ・難燃材：59 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 21 水酸化アルミニウム 23 三酸化アンチモン 4 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 11

項 目	仕 様
③裏張材 (合成樹脂系) (つづき)	<p>5) ポリエチレンフォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂 : 39.0 ± 3.0 ポリエチレン系樹脂 39.0 ± 3.0 ・充てん剤 : 5 ± 0.05 <ul style="list-style-type: none"> 有機チタン化合物 2.0 ± 0.05 金属脂肪酸塩 1.5 ± 0.05 酸化亜鉛 1.0 ± 0.05 有機系酸化防止剤 0.5 ± 0.05 ・難燃材 : 56 ± 2.0 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化アルミニウム 38.0 ± 2.0 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 12.0 ± 1.5 三酸化アンチモン 6.0 ± 0.7 <p>6) 水酸化マグネシウム混入/エチレン-酢酸ビニル樹脂系フォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂 : 40.2 ± 4.0 エチレン-酢酸ビニル樹脂 40.2 ± 4.0 ・難燃材 : 59.8 ± 4.0 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 32.2 ± 3.0 水酸化アルミニウム 14.1 ± 1.5 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 9.1 ± 1.0 三酸化アンチモン 4.4 ± 0.5 <p>7) ポリエチレン樹脂系フォーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成 (質量%) : <ul style="list-style-type: none"> ・有機系樹脂 : 40 ± 4.0 ポリエチレン系樹脂 40 ± 4.0 ・難燃材 : 59 ± 3.2 <ul style="list-style-type: none"> 水酸化マグネシウム 32 ± 3.2 水酸化アルミニウム 14 ± 1.4 臭素系難燃材 (デカブロモジフェニルエーテル) 9 ± 0.9 三酸化アンチモン 4 ± 0.5 ・添加剤 : 1 ± 0.1 <ul style="list-style-type: none"> 加工助剤 (シリコンオイル) 0.6 ± 0.05 酸化防止剤 (ヒンダートフェノール系) 0.4 ± 0.05 <p>8) 建築用断熱材 (JIS A 9521)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種類 : ⅰ)~ⅱ) のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> ⅰ) ポリスチレンフォーム ⅱ) ウレタンフォーム ⅲ) ポリエチレンフォーム ⅳ) フェノールフォーム <p>・厚さ 10 以下</p>

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
③裏張材 (合成樹脂系) (つづき)	・裏張材用接着剤 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)なし 2)あり ・材料：イ)～ホ)のうち、いずれか一仕様とする イ)アクリルウレタン系樹脂接着剤 ロ)アクリル系樹脂接着剤 ハ)ウレタン系樹脂接着剤 ニ)クロロプレンゴム系接着剤 ホ)アイオノマー系樹脂接着剤 ・塗布量：30g/m ² 以下 (有機質量)
④木棧	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)あり (②屋根葺材が(1)又は、(3)の金属かわら葺の場合に限る) ・材料：木材 ・寸法 15 以上×21 以上 (2)なし

項 目	仕 様
⑤野地板	<p>[1]硬質木片セメント板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 5404 ・厚 さ 18\pm2以上 ・密 度 1.0\pm0.2以上 <p>[2]フェノールフォーム保温板</p> <p>(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS A 9511 ・組 成(質量%) <ul style="list-style-type: none"> フェノール樹脂 100 炭 化 水 素 2～7 (外割) ・面 材 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> 1)ポリエステル系不織布(20～40g/m²) 2)ポリプロピレン系不織布(20～40g/m²) 3)ポリエチレン系加工紙(20～40g/m²) <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS Z 1514 4)アルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> ・規 格 JIS Z 1520 5)不燃性の加工紙 <ul style="list-style-type: none"> (けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウム、ガラス繊維複合紙) ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(2)両面無機質混沙紙張/フェノールフォーム板 (国土交通大臣認定:QM-9699)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(3)両面パルプ・ガラス繊維混入けい酸マグネシウム混沙紙張 /フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0021)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(4)両面エポキシ樹脂系塗装アルミニウムはく・ポリエステル不織布張 /フェノールフォーム板(国土交通大臣認定:QM-0054)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(5)両面アルミニウムはく・ポリエステル不織布張/フェノールフォーム板 (国土交通大臣認定:QM-0055)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(6)フェノールフォーム充てん/両面ポリエステル不織布裏張・エポキシ 系樹脂塗装アルミニウムはく(国土交通大臣認定:NM-0315)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 12～66 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³ <p>(7)両面アルミニウムはく・ガラスクロス張/両面ガラス繊維不織布張 /フェノール樹脂発泡板(国土交通大臣認定:NM-0191)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚 さ 20～75 ・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下 ・密 度 27\pm3～40\pm5kg/m³

(寸法単位:mm)

項 目	仕 様
⑤野地板 (つづき)	<p>(8)フェノールフォーム充てん/両面ポリエステルアルミニウム不織布 裏張・エポキシ系樹脂塗装アルミニウムはく (国土交通大臣認定：NM-0636)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚 さ 12～66・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>(9)フェノールフォーム保温板充てん/両面エポキシ系樹脂塗装アルミニウム合金はく (国土交通大臣認定：NM-3815)</p> <ul style="list-style-type: none">・厚 さ $19.76_{\pm 2} \sim 66_{\pm 7}$・寸 法 幅 1000 以下 長さ 2000 以下・密 度 $27_{\pm 3} \sim 40_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ <p>[3]接着剤</p> <p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)変成シリコン系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m^2以下 <p>(2)エポキシ系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m^2以下 <p>(3)酢酸ビニル系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m^2以下 <p>(4)合成ゴムラテックス系接着剤</p> <ul style="list-style-type: none">・使用量 200g/m^2以下

2)副構成材料

(寸法単位:mm)

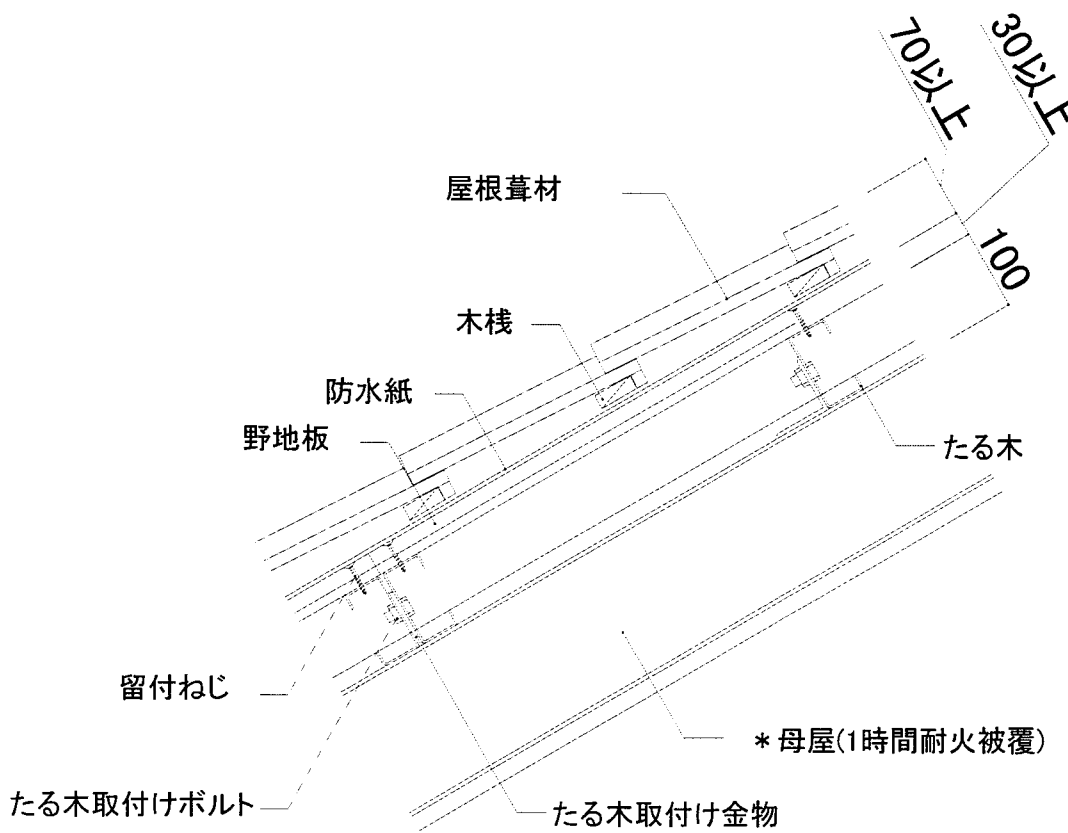
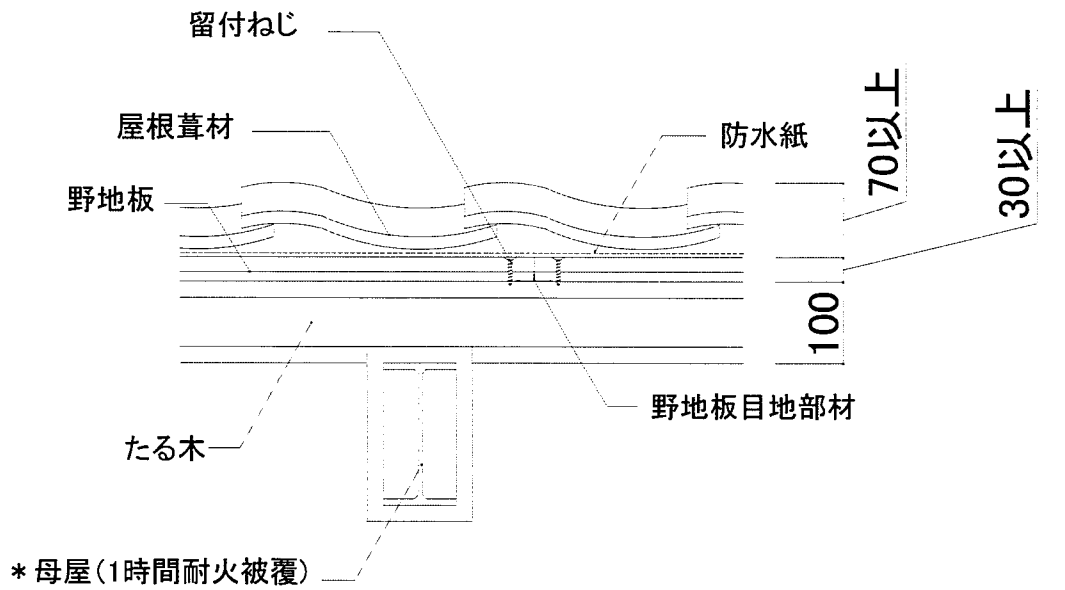
項 目	仕 様
①留付ねじ	<p>[1]野地板用 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)タッピンねじ ・規 格 JIS B 1122 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 (2)ドリリングタッピンねじ ・規 格 JIS B 1125 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 (3)リーマ付ビス ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下 (4)ねじ ・材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする。 1)ステンレス鋼製 2)鋼製 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 40$ 以上 ・間 隔 303 以下</p> <p>[2]屋根葺材用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする。 (1)タッピンねじ ・規 格 JIS B 1115 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下 (2)ねじ ・材 質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする。 1)ステンレス鋼製 2)鋼製 ・寸 法 $\phi 4.0$ 以上$\times$$\ell 30$ 以上 ・間 隔 500 以下</p>
②防水紙	<p>(1)～(7)のうち、いずれか一仕様とする (1)アスファルトルーフィング 940 ・規 格 JIS A 6005 (2)アスファルトフェルト ・規 格 JIS A 6005 ・単位面積質量 430～650g/m² 以下 (3)合成高分子系ルーフィングシート ・規 格 JIS A 6008 ・単位面積質量 940g/m² 以下 (4)改質アスファルトルーフィングシート ・規 格 JIS A 6013 ・単位面積質量 940g/m² 以下</p>

項 目	仕 様
②防水紙 (つづき)	(5)改質アスファルトルーフィング下葺材 ・規 格 JWMA 規格 ARK04 ^S -04 ・単位面積質量 940g/m ² 以下 (6)改質アスファルトフェルト ・規 格 JWMA 規格 ARK14 ^R -04 ・単位面積質量 940g/m ² 以下 (7)透湿防水シート ・規 格 JIS A 6111 ・単位面積質量 940g/m ² 以下
③野地板目地部材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)金属ジョイナー ・材 料：屋根葺材(3)-1)～9)、16)～29)と同じ ・厚 さ：0.27以上 ・形 状：T型 ・高 さ：野地板〔2〕フェノールフォーム保温板の厚さ以下
④たる木取付け金物	一般構造用圧延鋼材 ・規格 JIS G 3101 ・寸法 L-75×75×6の断面寸法以上 ・寸法 FB-6×75×75の断面寸法以上(たる木ダブル部位仕様)
⑤たる木取付けボルト	・規格 JIS B 1180 ・寸法 M12以上× ℓ 25以上
⑥金属板の葺き方	(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする (1)平葺 ・金属板の形状 別添-34 参照 (2)たて平葺 ・金属板の形状 別添-34 参照 (3)かわら棒葺 ・金属板の形状 別添-34 参照 (4)段葺 ・金属板の形状 別添-34 参照 (5)横葺 ・金属板の形状 別添-35 参照 (6)金属がわら葺 ・金属板の形状 別添-35 参照 (7)平滑葺 ・金属板の形状 別添-35 参照 (8)折板葺 ・金属板の形状 別添-35 参照 (9)なし

4. 構造説明図

粘土がわら・プレスセメントがわらの場合

(寸法単位：mm)

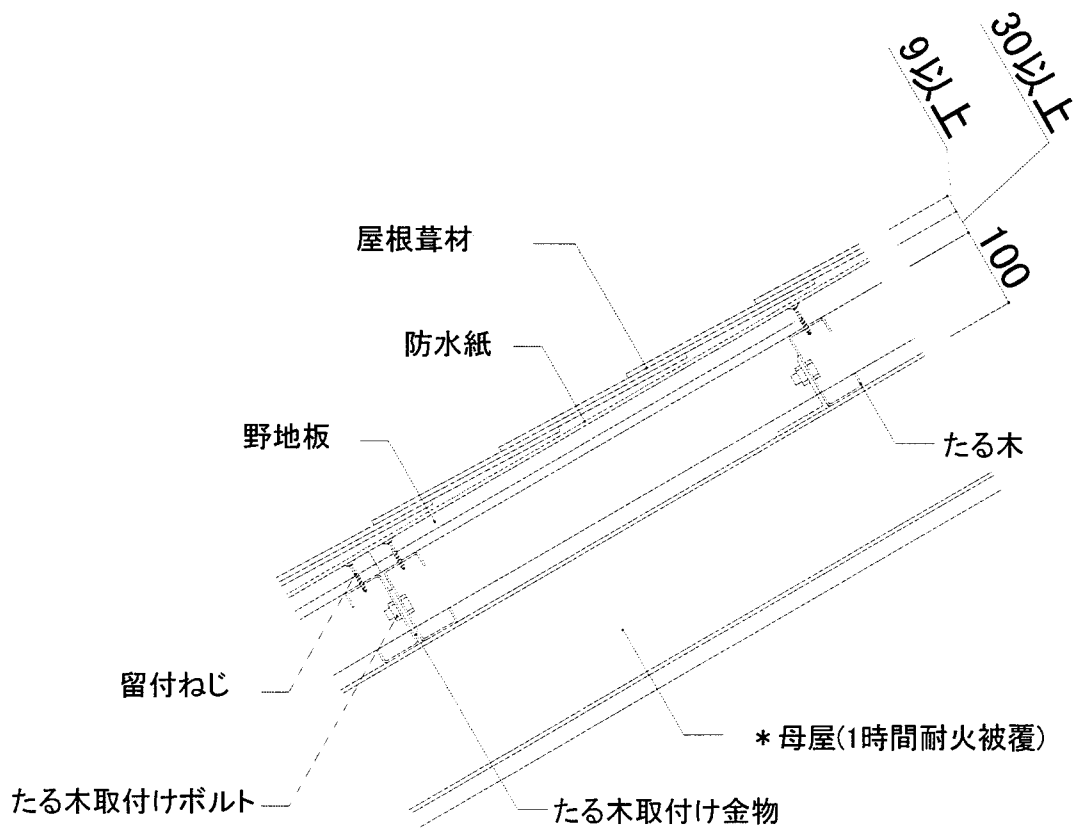
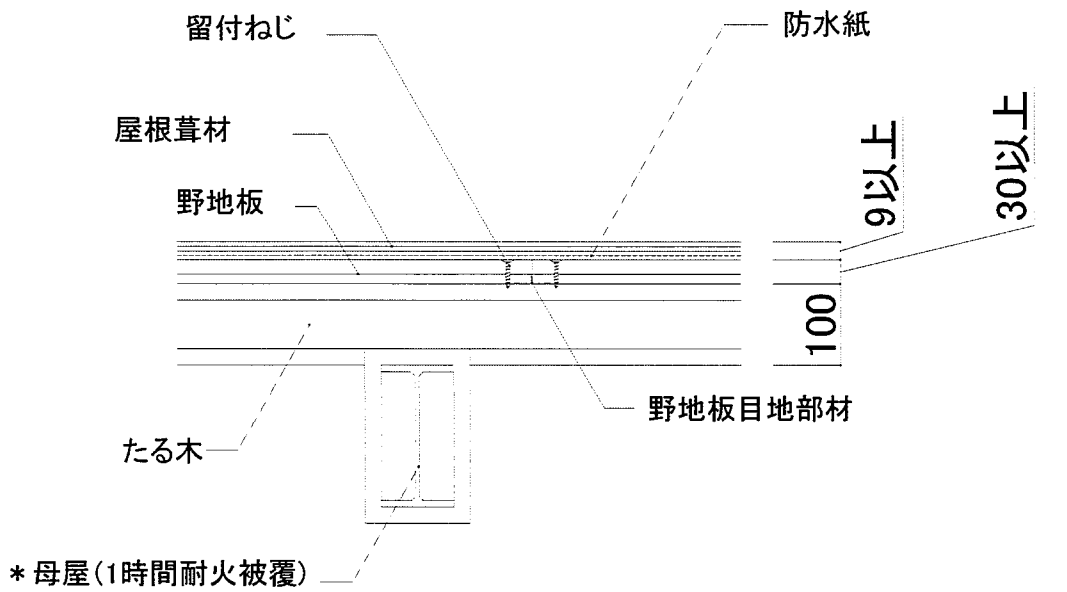


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

住宅屋根化粧スレートの場合

(寸法単位：mm)

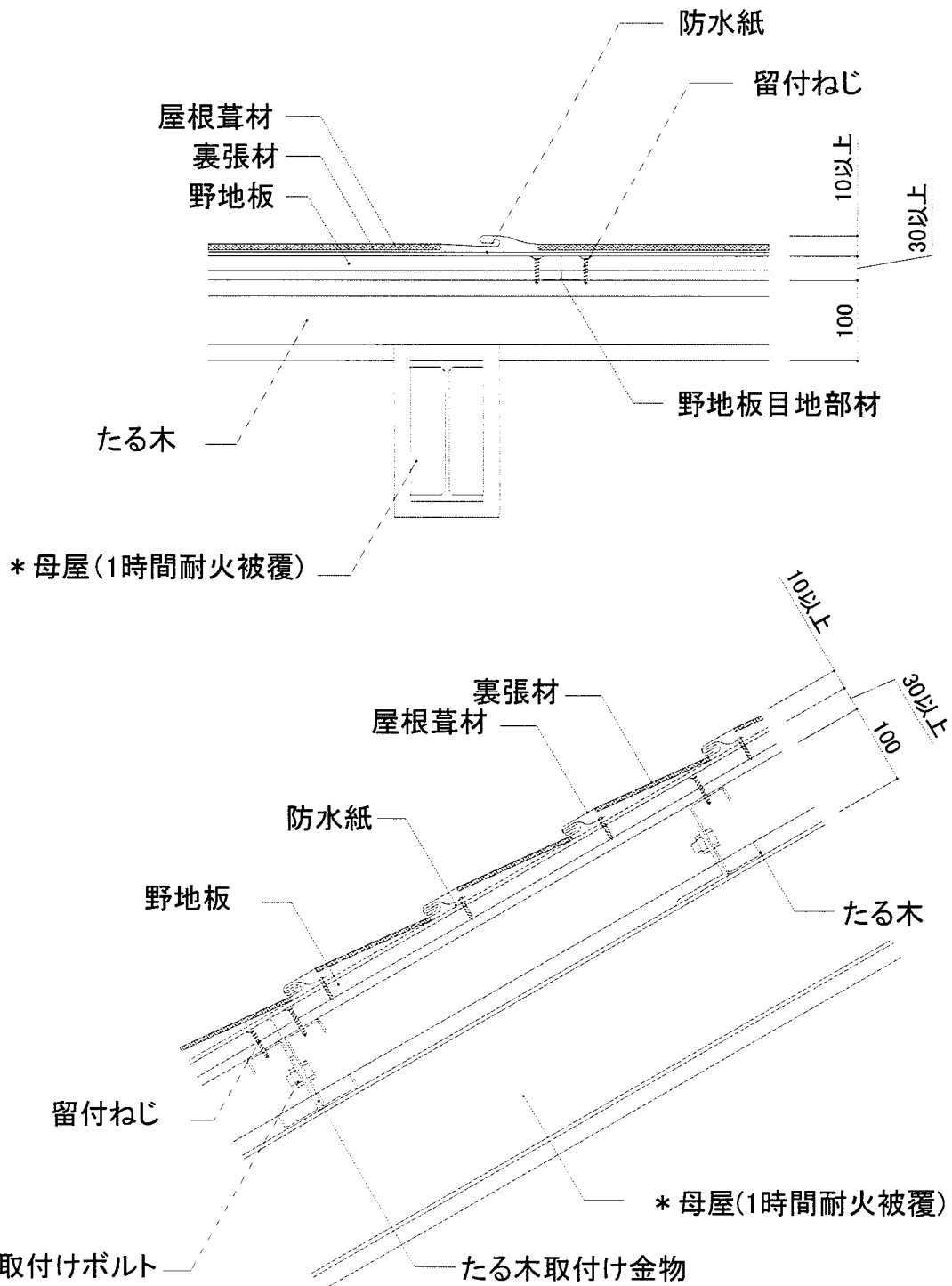


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (平葺)

(寸法単位 : mm)

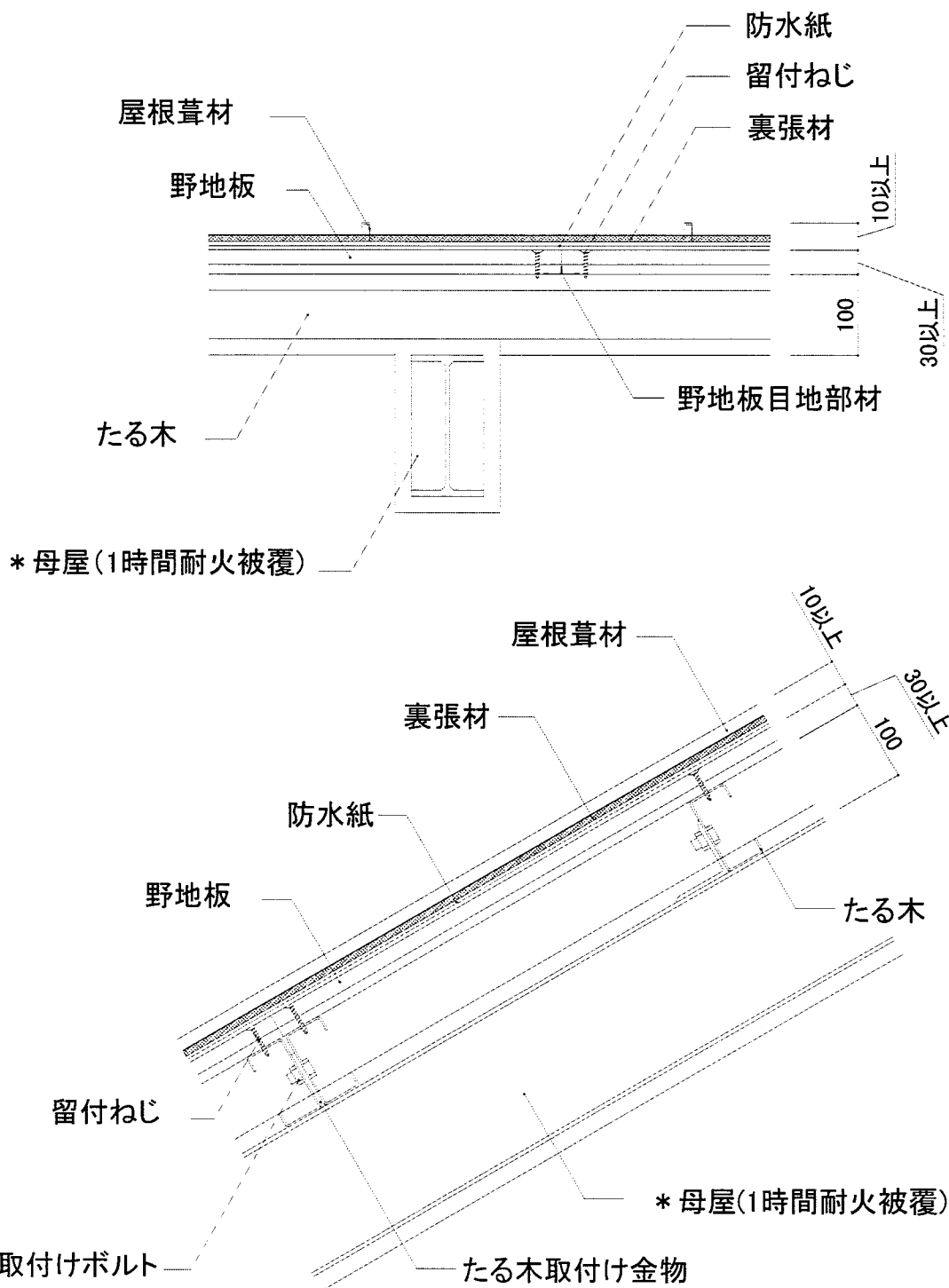


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (たて平葺)

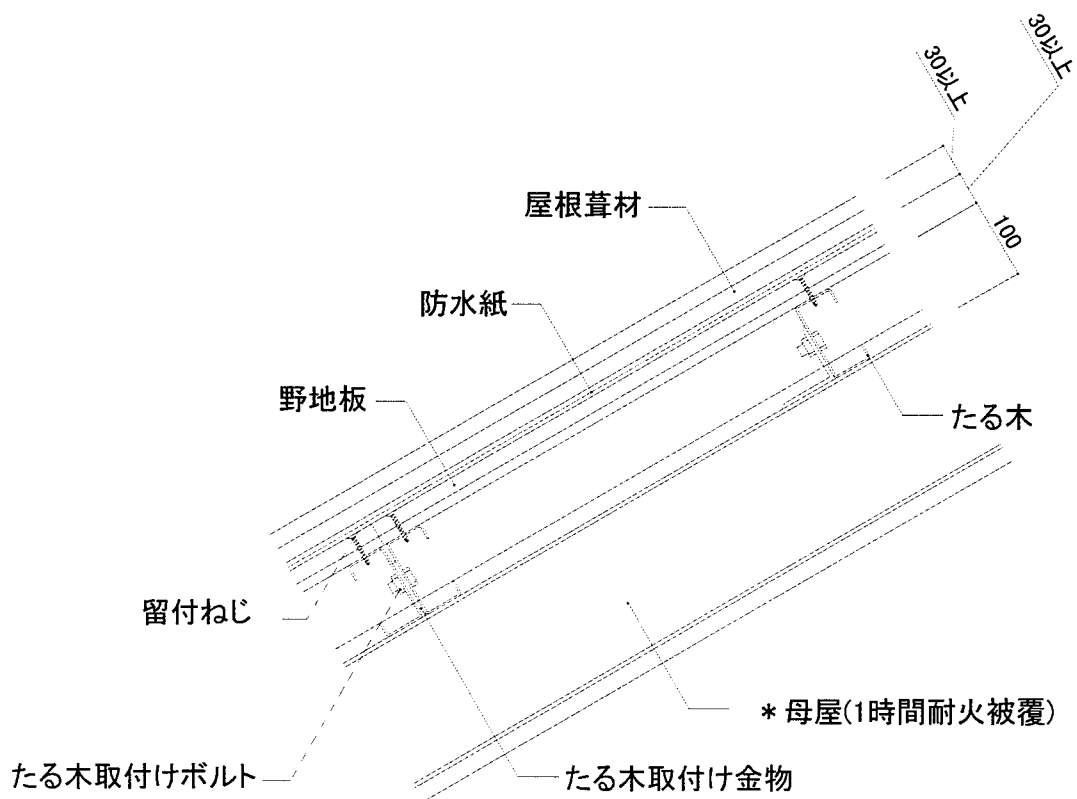
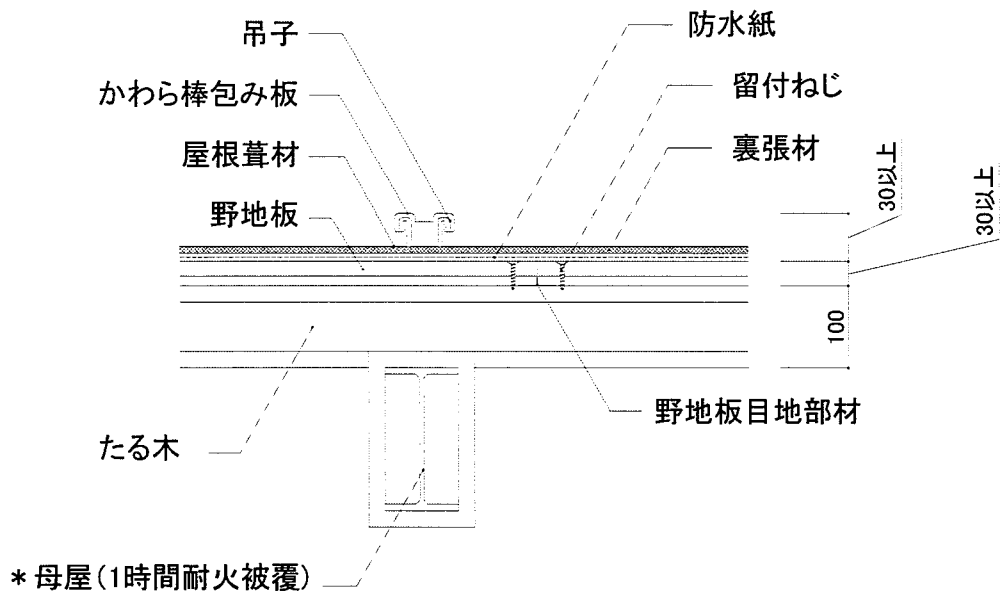
(寸法単位 : mm)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
 *: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (かわら棒葺)

(寸法単位 : mm)

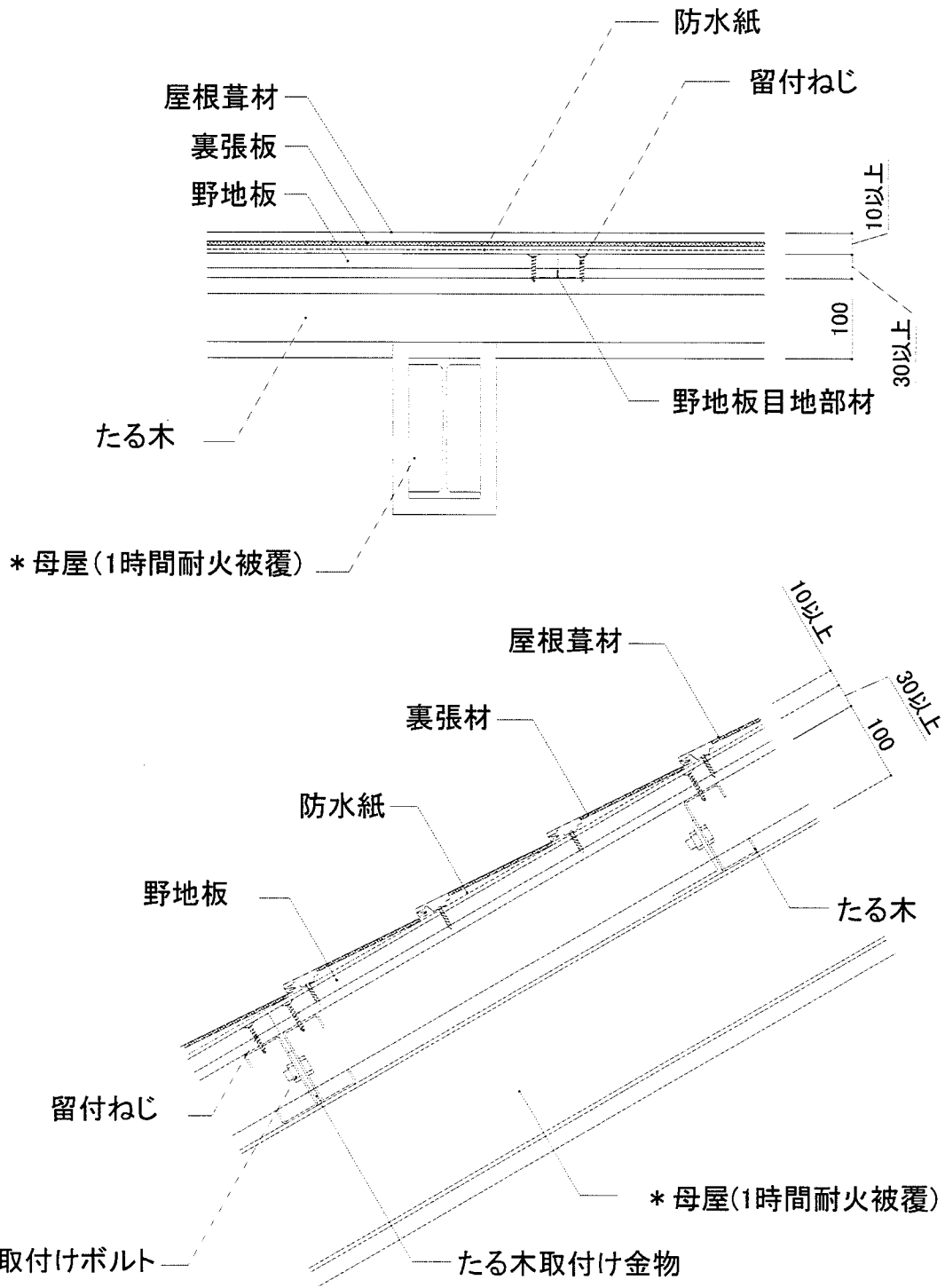


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

* : 本評価内容に含まない

金属板の場合 (段葺)

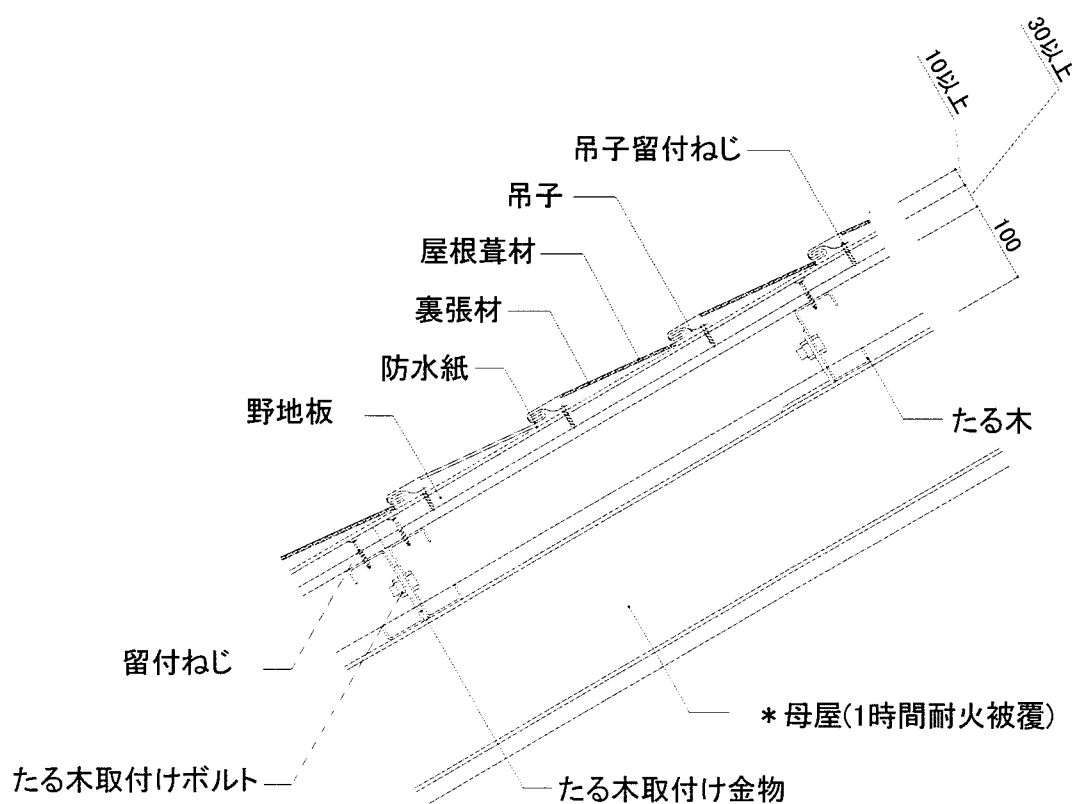
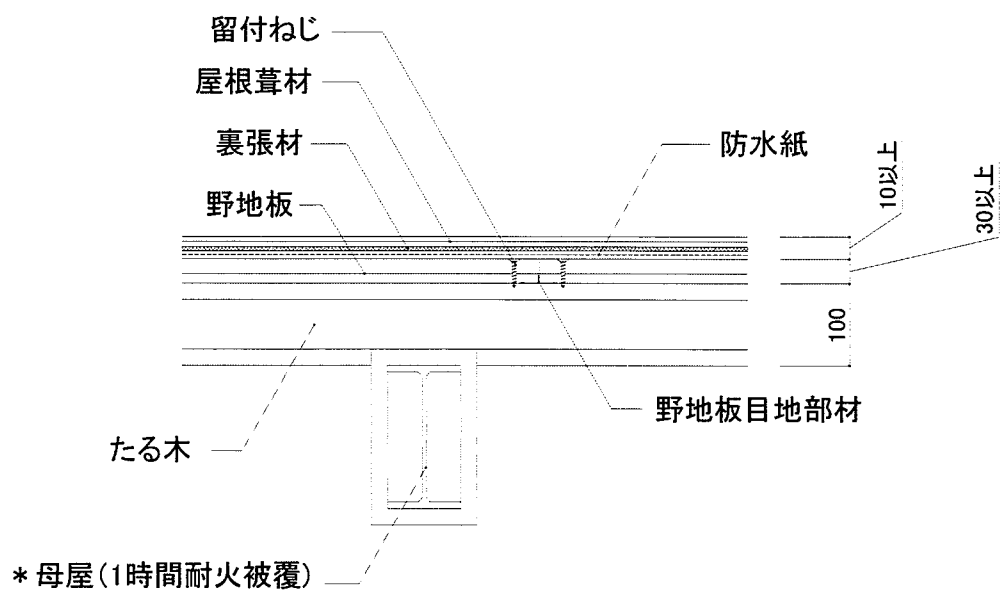
(寸法単位: mm)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
 *: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (横葺)

(寸法単位: mm)

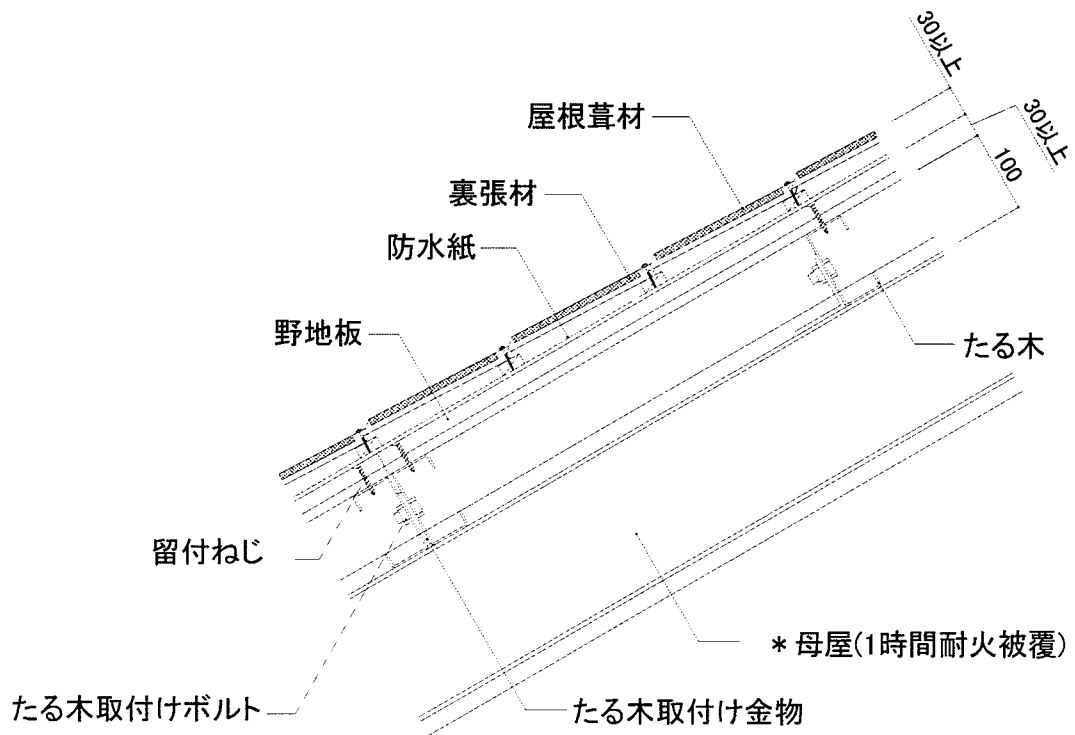
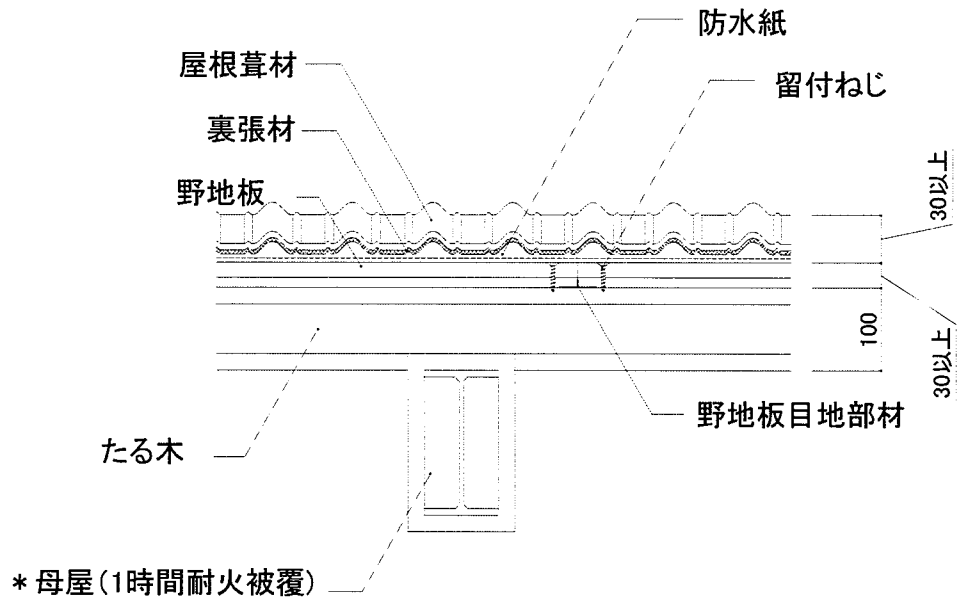


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

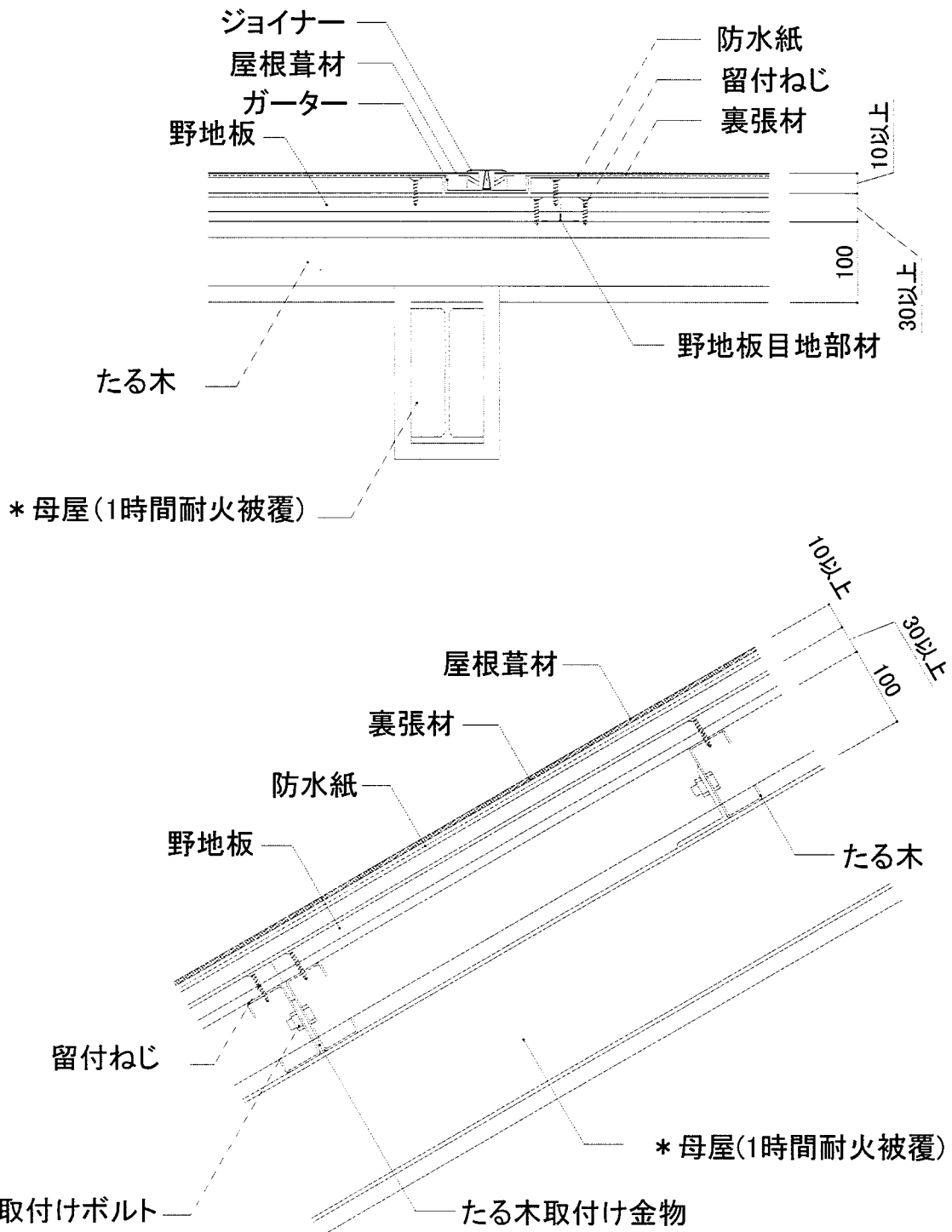
金属板の場合 (金属がわら葺)

(寸法単位 : mm)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

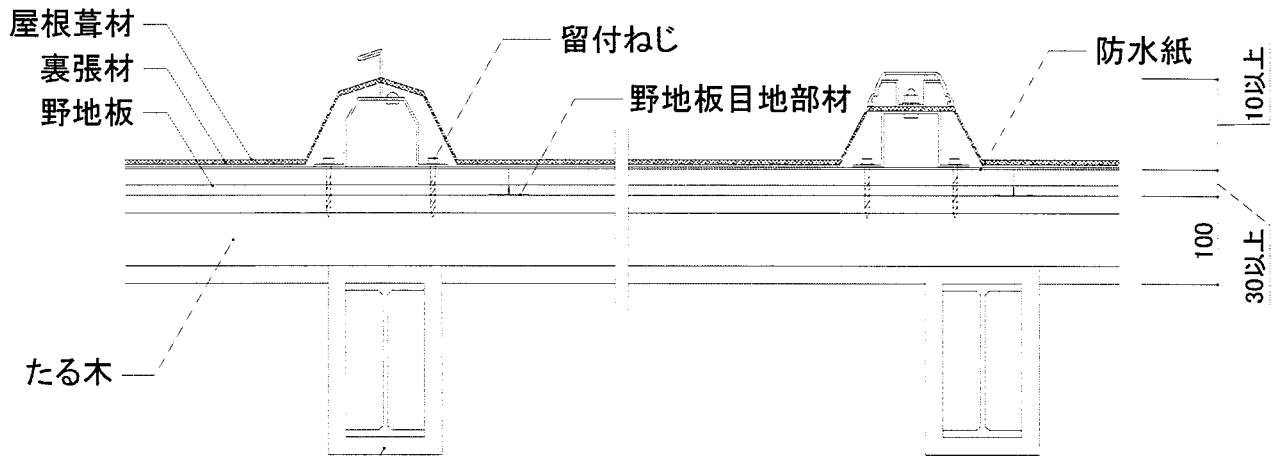
*: 本評価内容に含まない



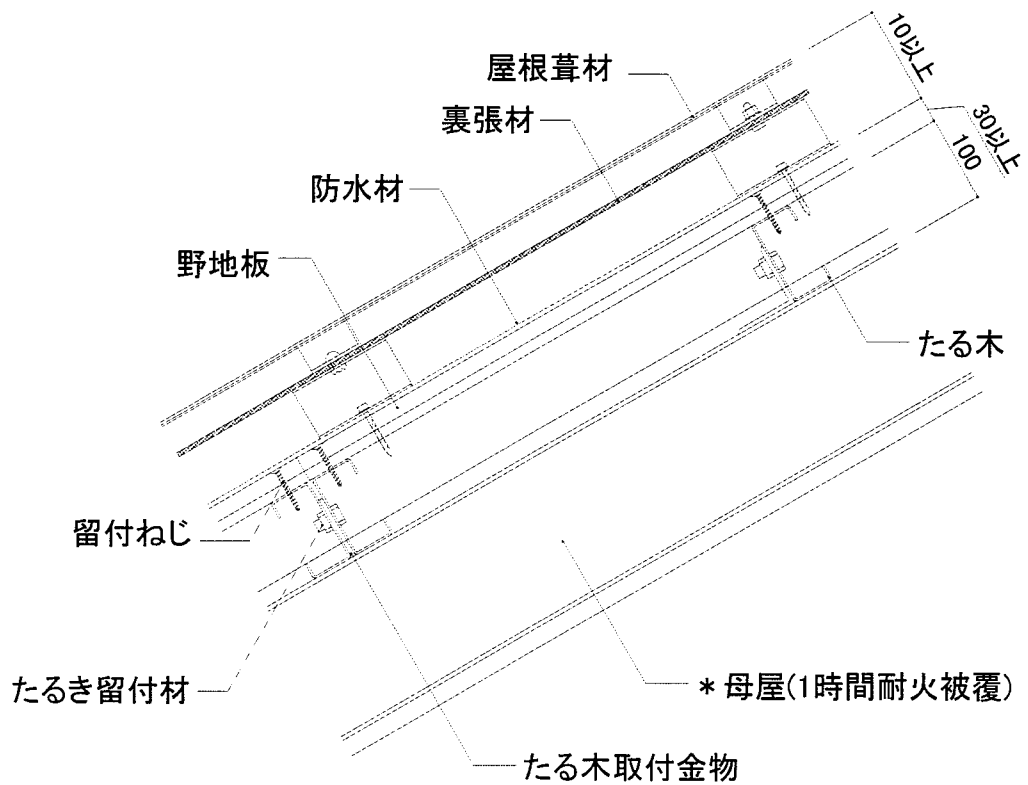
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（折板葺）

（寸法単位：mm）



* 母屋(1時間耐火被覆)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

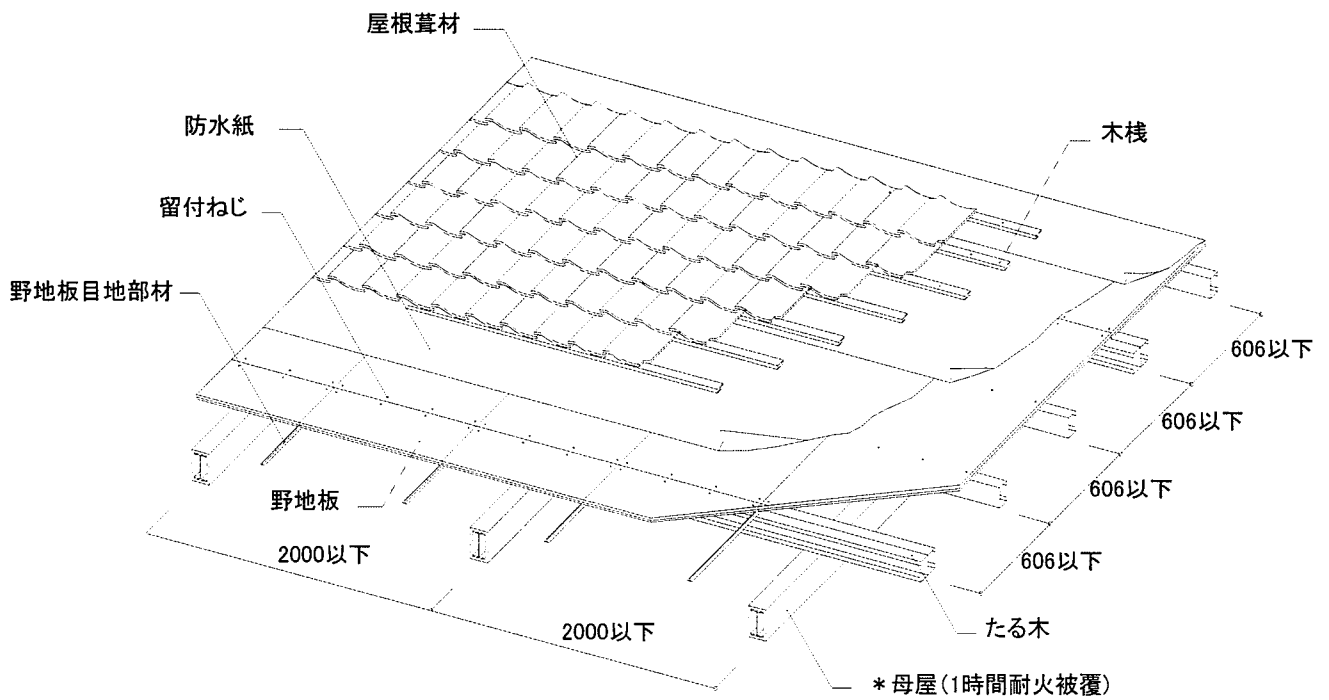
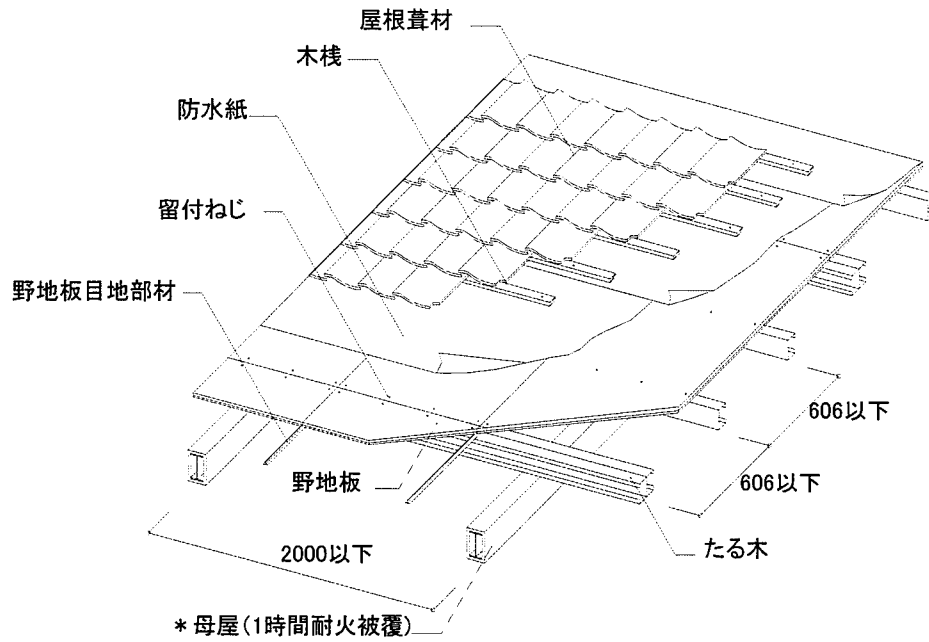
*: 本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

粘土がわら・プレスセメントがわらの場合

(寸法単位：mm)

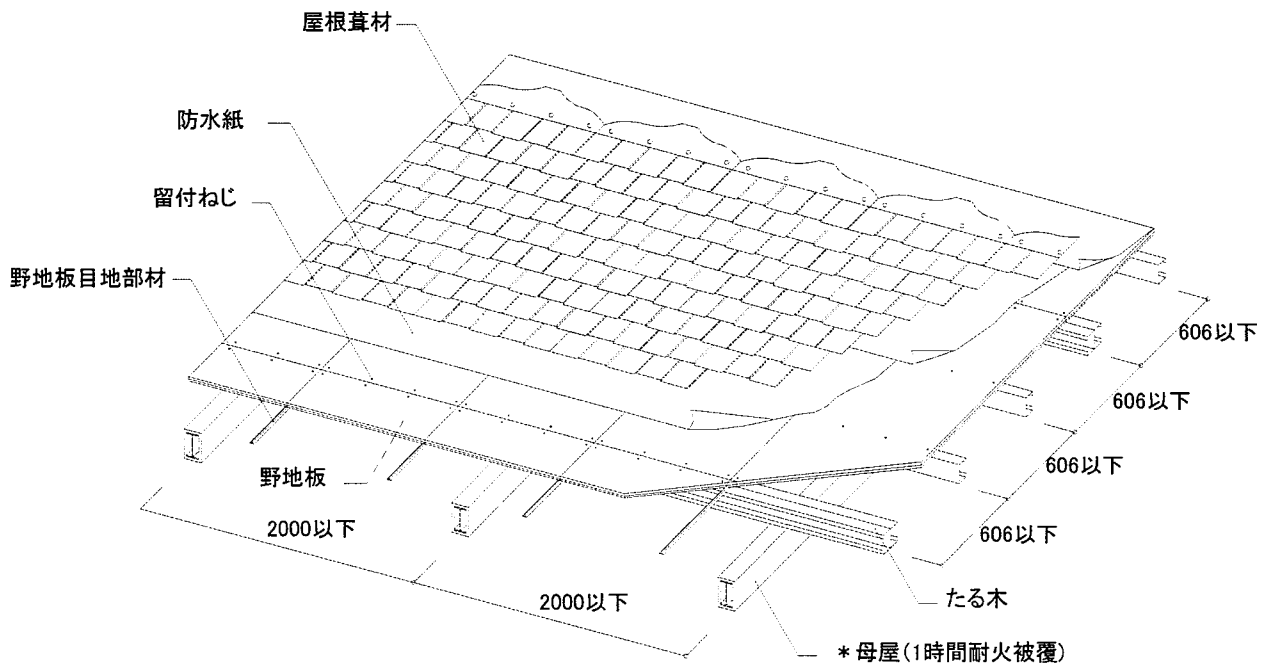
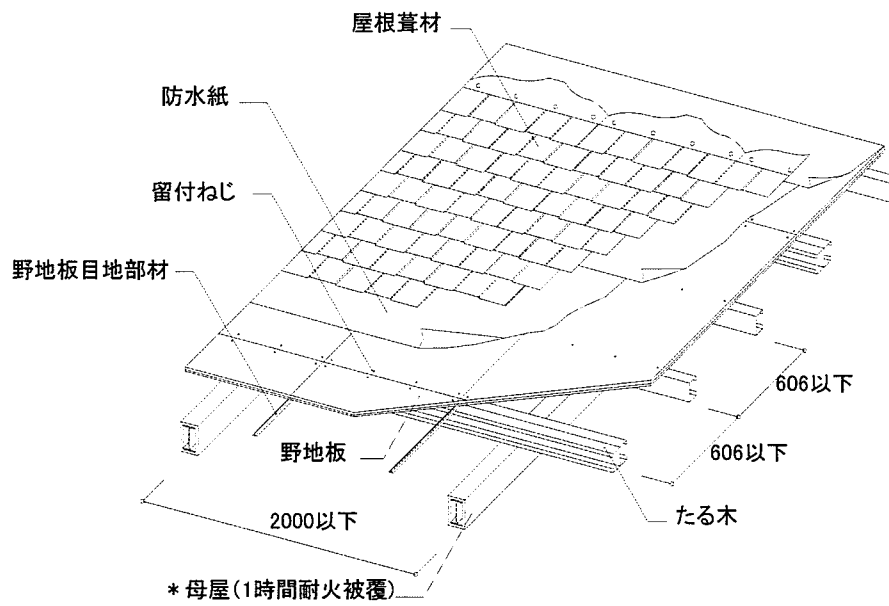


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

住宅屋根用化粧スレートの場合

(寸法単位：mm)

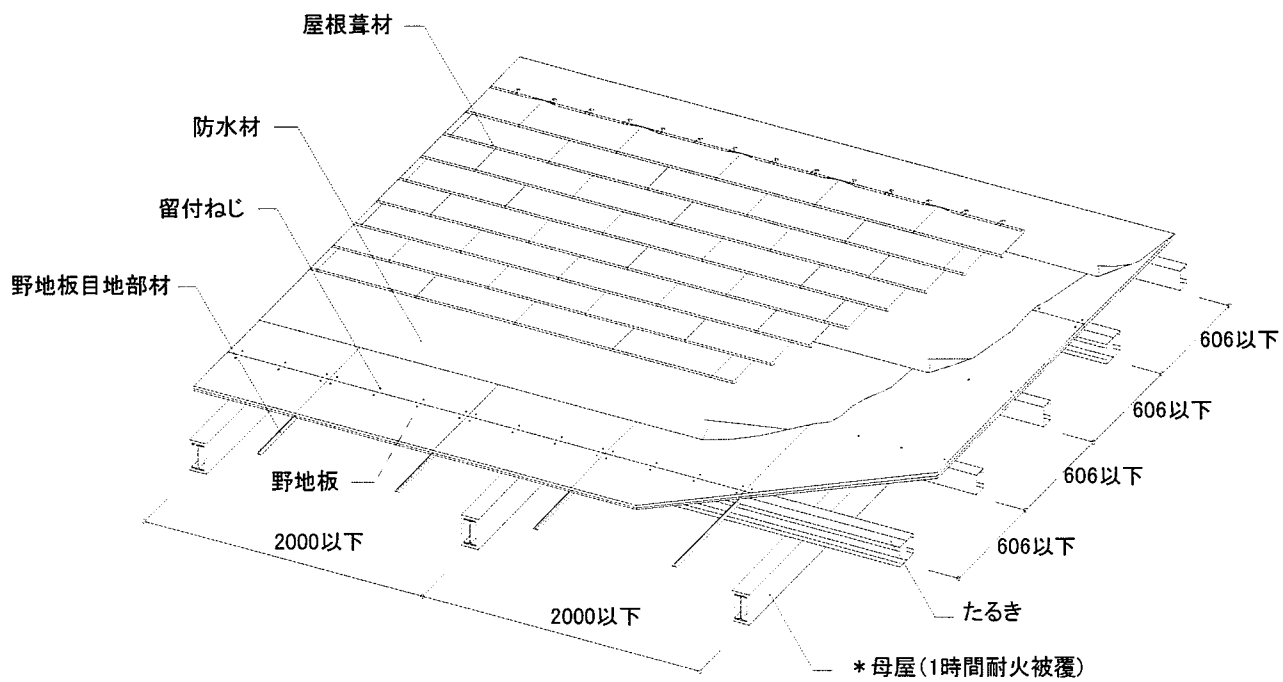
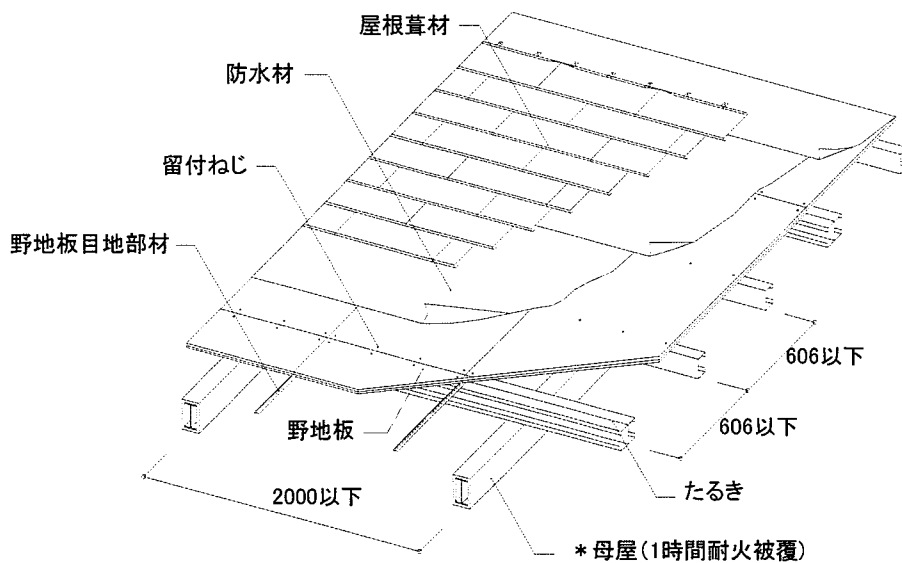


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（平葺）

（寸法単位：mm）

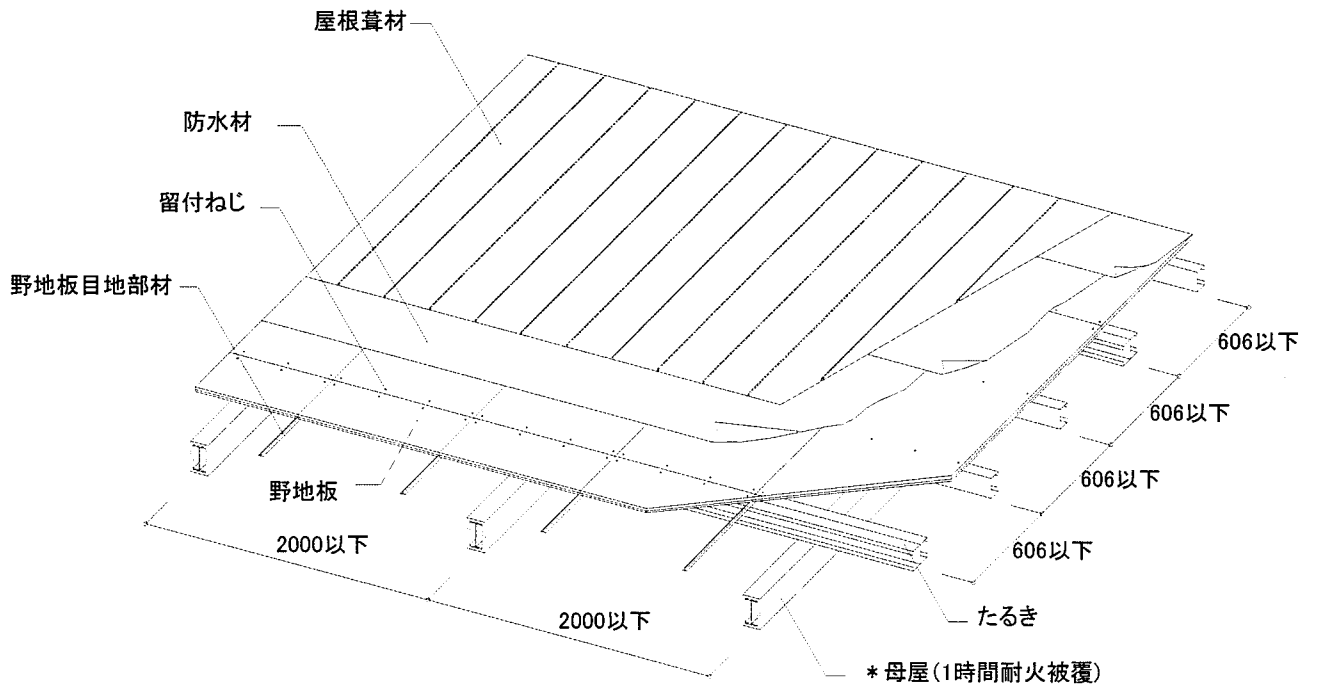
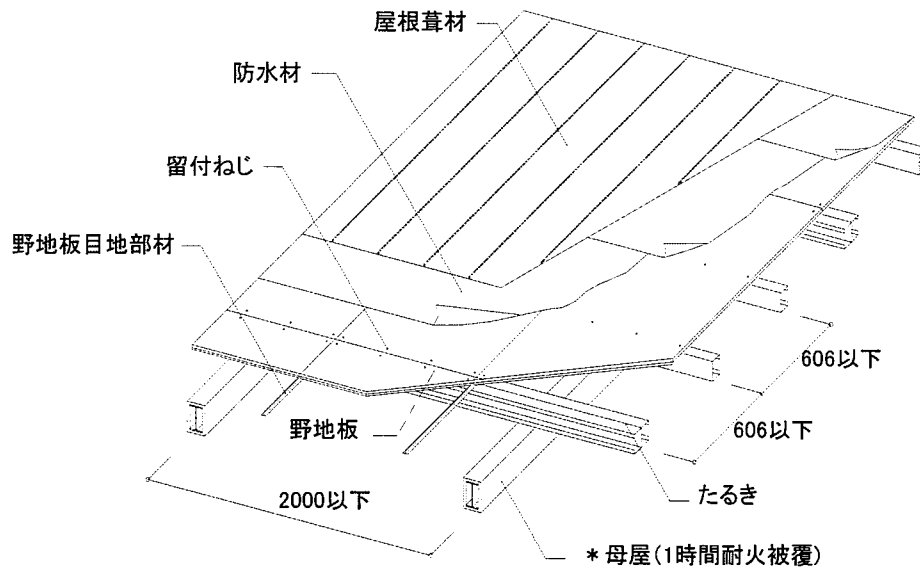


注)寸法および材料構成は2および3のとおり

*:本評価内容に含まない

金属板の場合 (たて平葺)

(寸法単位: mm)

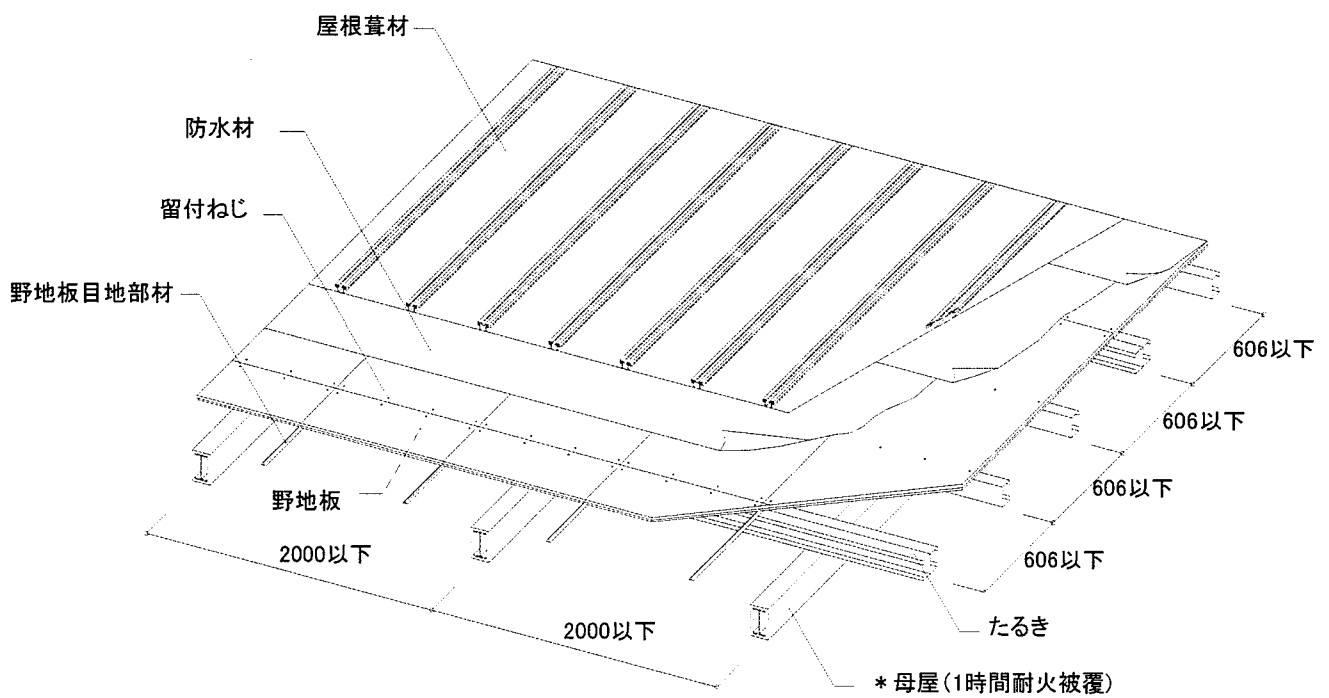
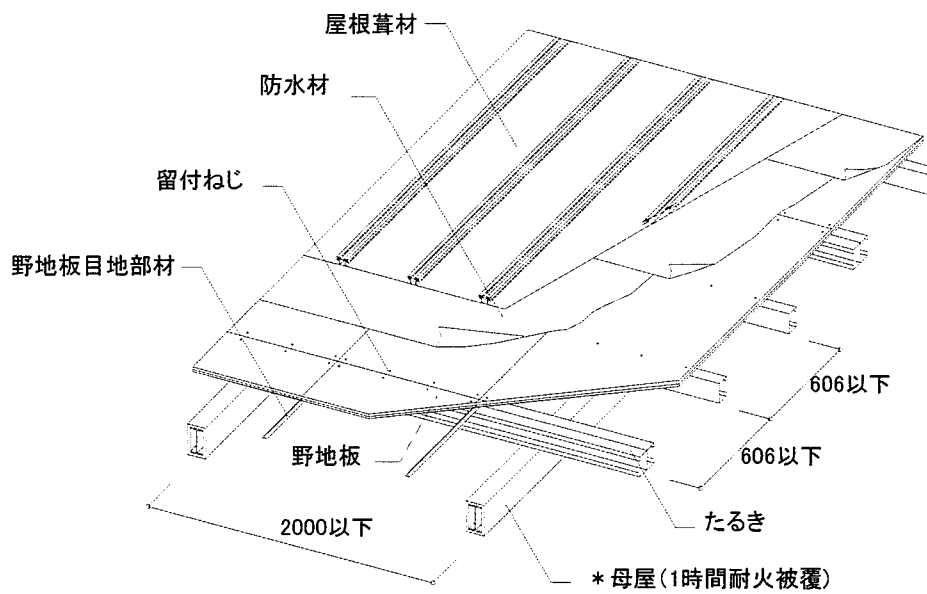


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (かわら棒葺)

(寸法単位 : mm)

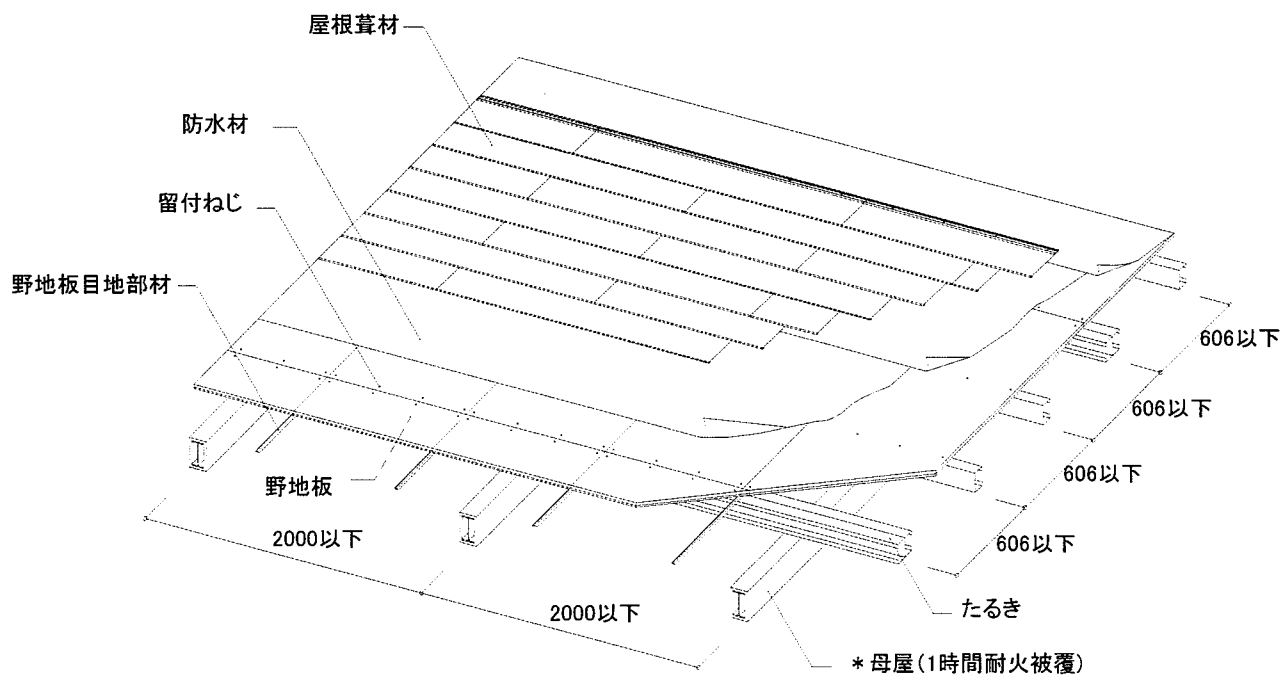
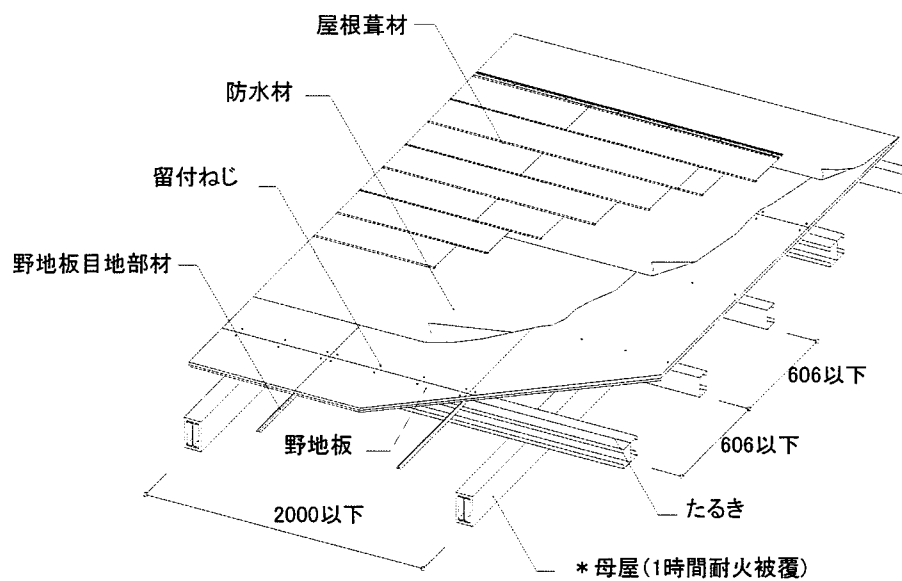


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合 (段葺)

(寸法単位 : mm)

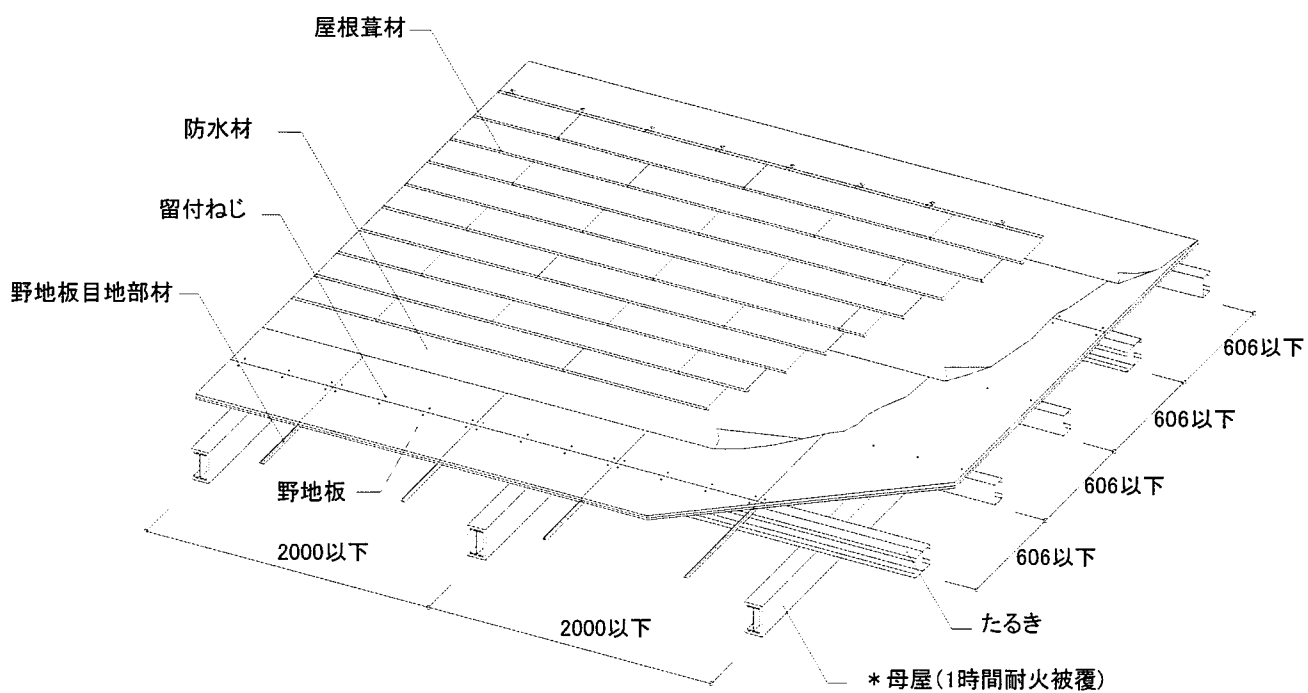
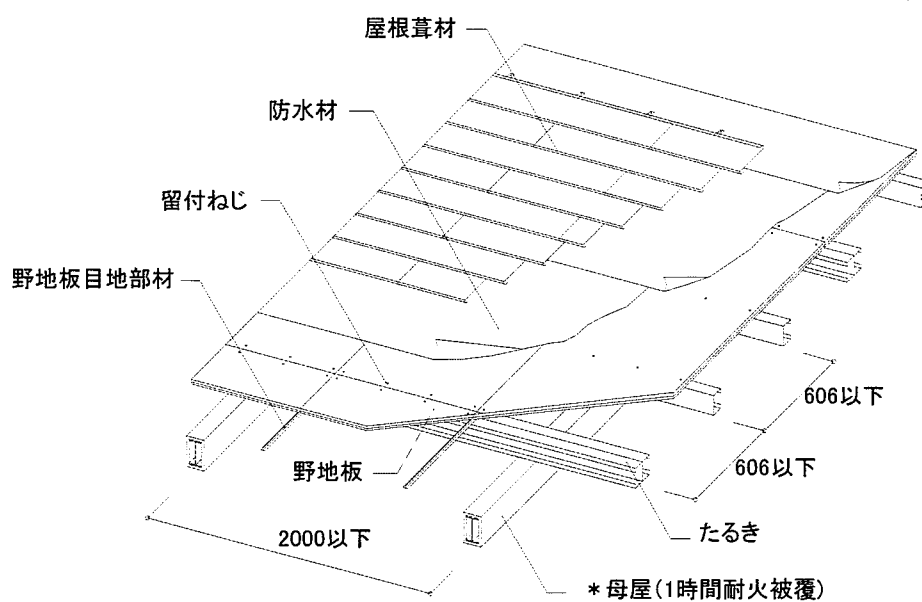


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（横葺）

（寸法単位：mm）

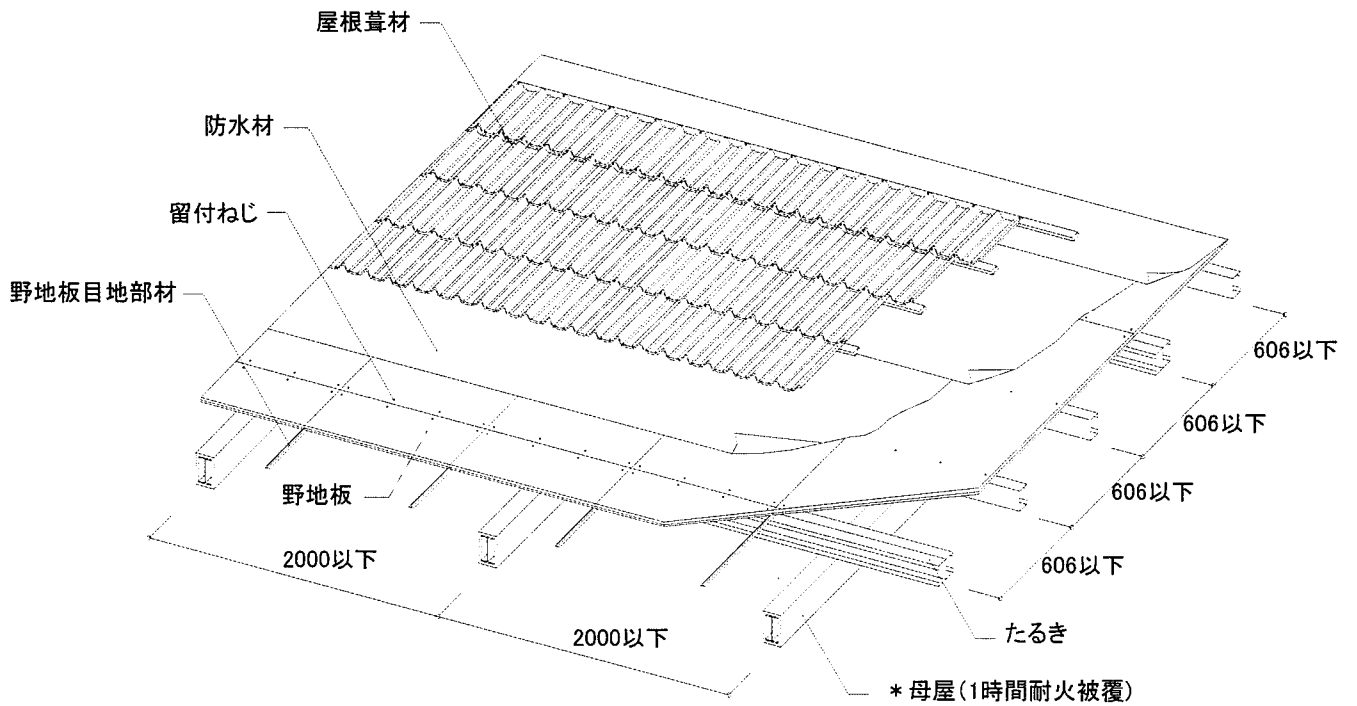
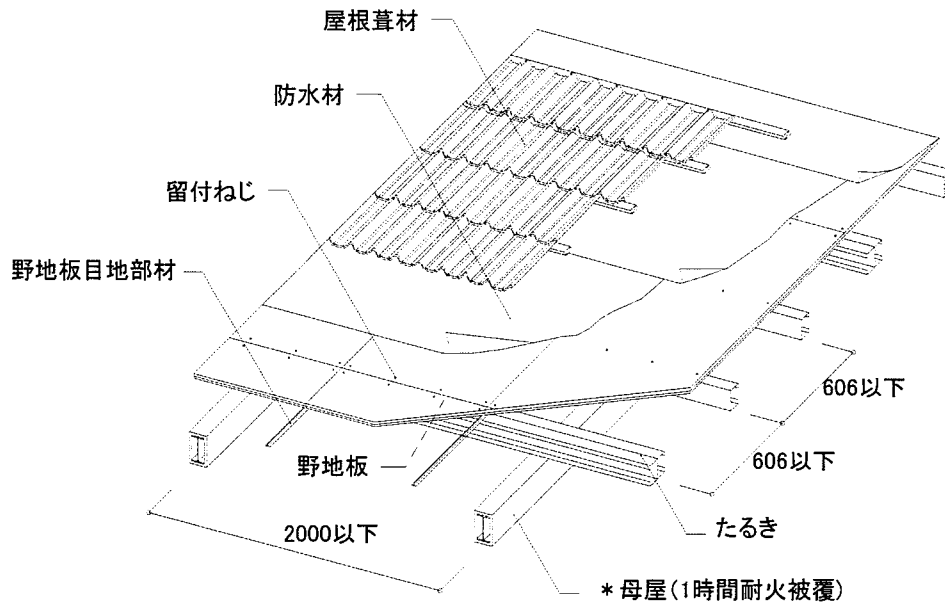


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（金属がわら葺）

（寸法単位：mm）

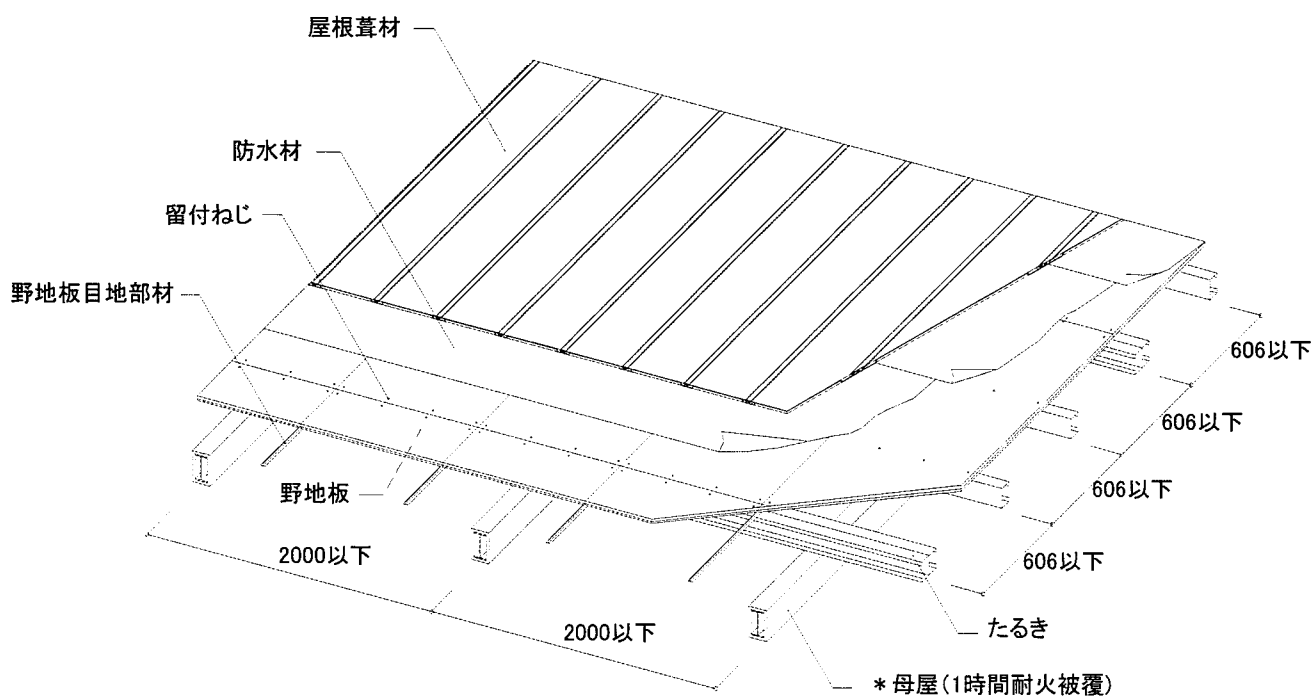
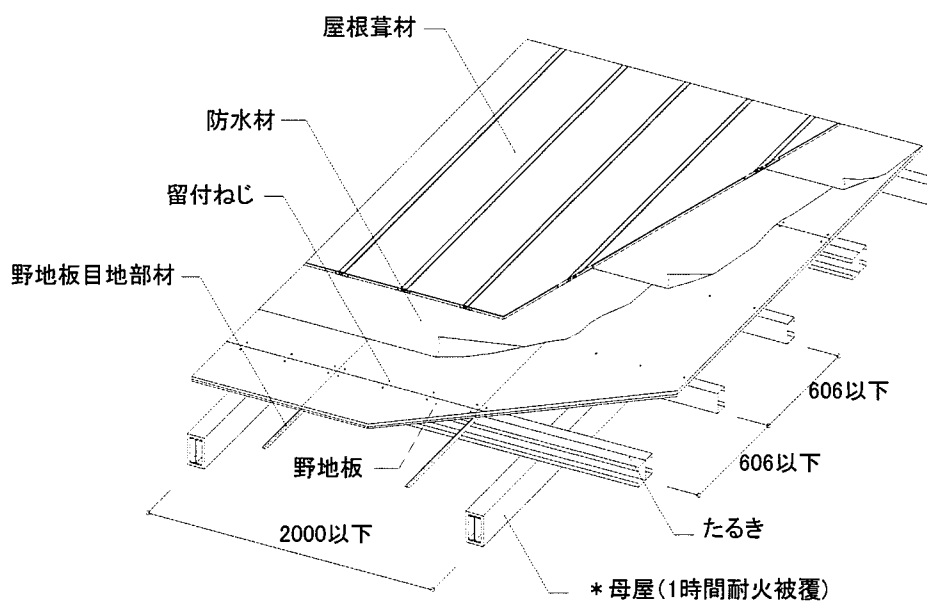


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（平滑葺）

（寸法単位：mm）

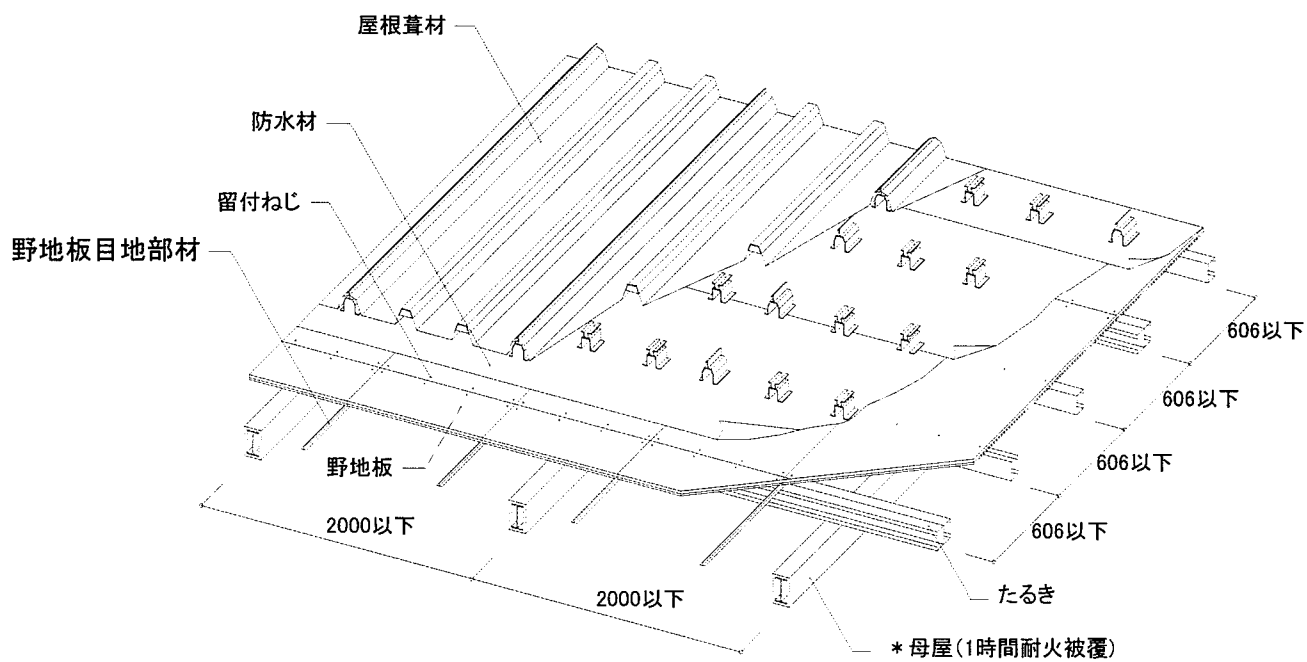
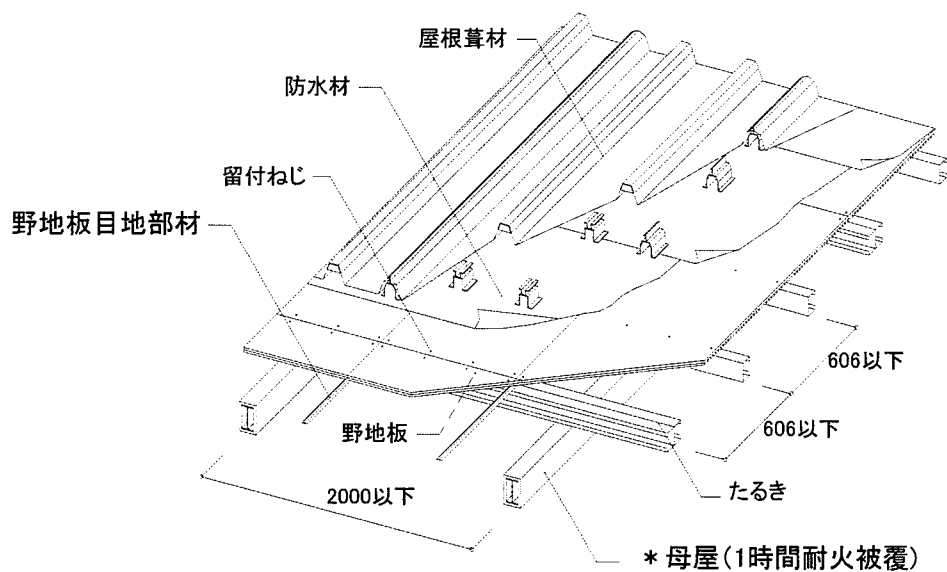


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

金属板の場合（折板葺）

（寸法単位：mm）



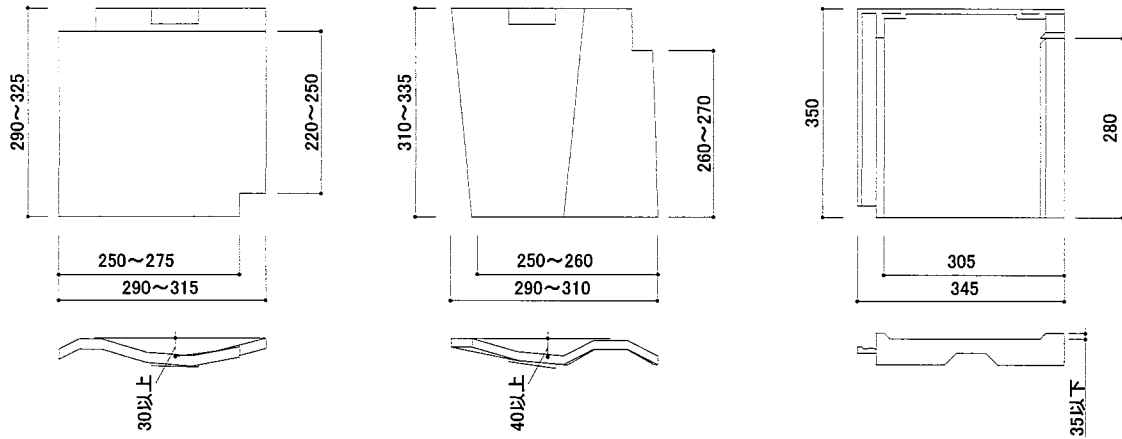
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*: 本評価内容に含まない

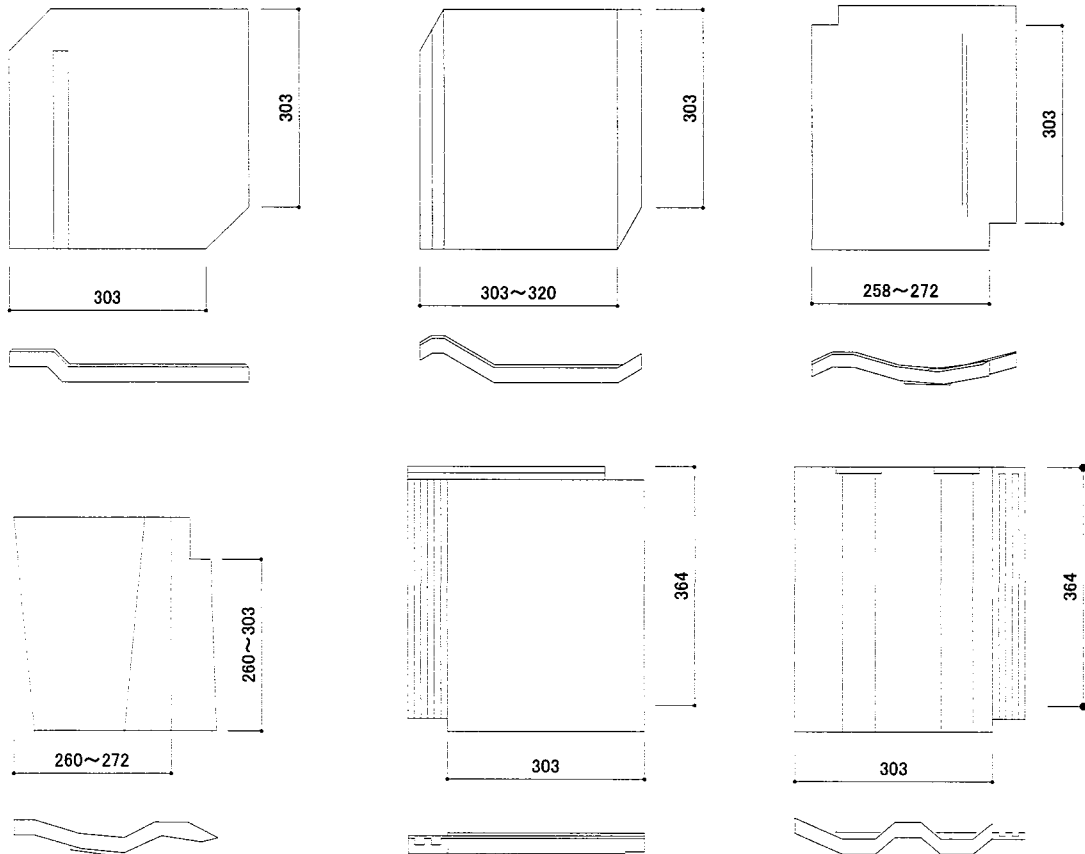
葺材形状

[1] 粘土がわらの場合 (例)

(寸法単位：mm)



[2] プレスセメントがわらの場合 (例)



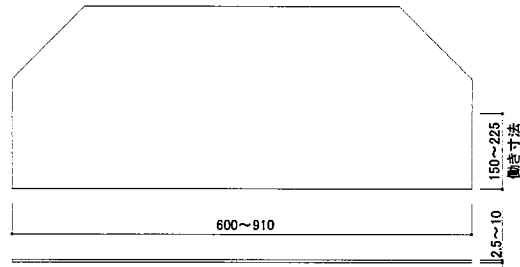
S形棧がわら

平板棧がわら

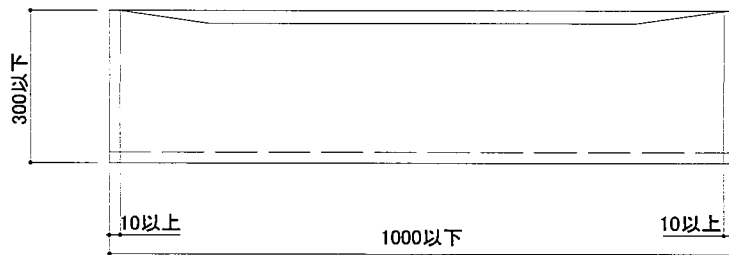
波形棧がわら

[3]住宅屋根用化粧スレートの場合

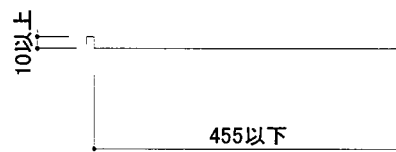
(寸法単位：mm)



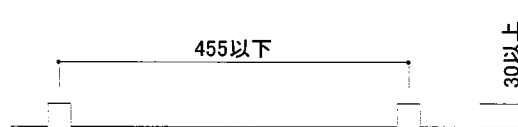
[4]金属板 平葺の場合



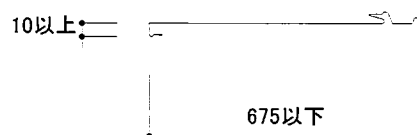
[5]金属板 たて平葺の場合



[6]金属板葺 かわら棒葺の場合

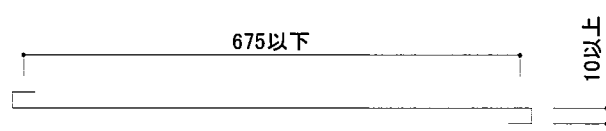


[7]金属板葺 段葺の場合

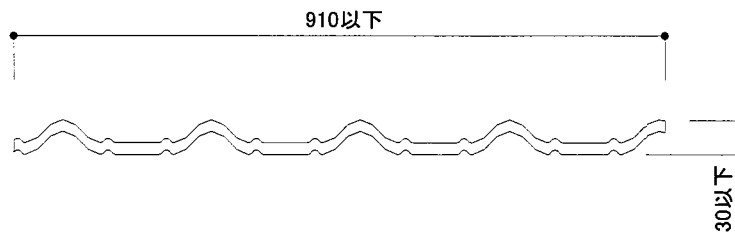


[8]金属板葺 横葺の場合

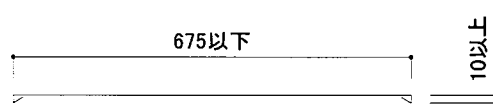
(寸法単位：mm)



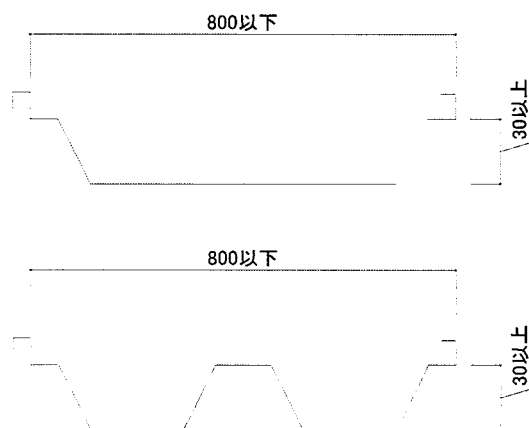
[9]金属板葺 金属がわら葺の場合



[10]金属板葺 平滑葺の場合



[11]金属板葺 折板葺の場合



<施工手順>

1) 下地工程：

- ・母屋は構造耐力上安全なものとし、耐火1時間の被覆を施す。ただし平成12年度建設省告示第1399号第4第三号ニの規定に該当する場合には、耐火被覆をなくしてもよい。
- ・垂木の間隔は606mm以下とする。

2) 野地板の取付け：

- ・割付に従って、野地板を留付ねじで間隔303mm以下に垂木に留付ける。
- ・野地板目地に野地板目地部材を使用することができる。なお、野地板目地部材はたる木を跨ぐように施工する。

3) 屋根仕上げ：

- ・野地板の上に防水紙を重代100mm以上にて葺き防水する。
- ・屋根葺材は、不燃材料で葺上げる。